

防災まちづくりに向けた避難行動等に関する調査の結果

(1) 調査概要（調査目的・調査方法等）

調査名	防災まちづくりに向けた避難行動等に関する調査
調査目的	豪雨災害時（平成 30 年 7 月 6 日・7 日）における住民の避難行動等を把握し、防災まちづくりに向けた検討・計画策定に向けた基礎資料として活用する。
調査内容	豪雨災害時の避難行動 (避難開始時間・避難先・移動手段・連絡相手・避難候補地等)
調査地域	岡山県倉敷市真備町
調査対象	2,878 世帯※ ¹ 豪雨災害時（7 月 6 日）に調査地域に在住していた世帯 9,006 世帯からサンプル抽出
調査方法	質問紙により郵送・自記入・郵送返却 (調査票送付先 倉敷市建設局 災害復興推進室 宛)
調査期間	平成 30 年 12 月 3 日（月）～平成 30 年 12 月 22 日（土）※ ² 【20 日間】

※¹：無作為抽出。（罹災世帯 1,475 世帯、非罹災世帯 1403 世帯）

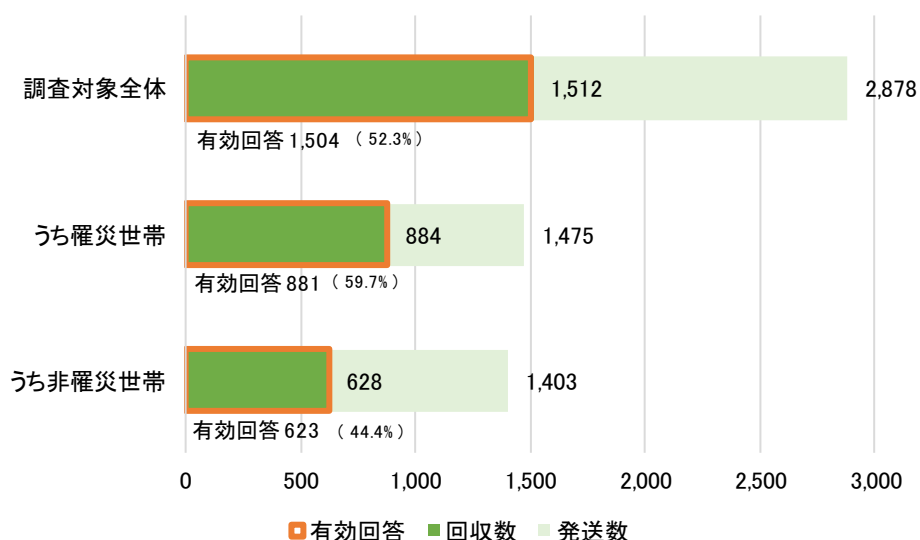
※²：回答期限は調査票に「期日：平成 30 年 12 月 22 日（土）」と記載し送付したが、期日以降も多くの調査票が返信されたため、集計・分析にあたっては、平成 31 年 1 月 18 日（月）までに「倉敷市建設局 災害復興推進室」に返却された調査票を対象とした。

(2) 回収結果

	発送数	回収数	回収率	有効回答※3	有効回答率
調査対象	2,878 世帯	1,512 世帯	52.5%	1,504 世帯	52.3%
うち罹災世帯※4	1,475 世帯	884 世帯	59.9%	881 世帯	59.7%
うち非罹災世帯	1,403 世帯	628 世帯	44.8%	623 世帯	44.4%

※3：返信封筒に調査票②（記入済み）が封入されていた回答票のみを対象とした。

※4：罹災世帯：住家被害を受けた世帯として罹災証明を申請し受理された世帯



(3) 調査結果

本調査の調査結果を以降に整理する。

【注：資料内の表記について】

- 表やグラフ上の割合「％」は、無回答、不明等を除いた回答者数に対する割合を示している。また、割合（％）は、小数点以下第二位を四捨五入した数値としている。そのため、各回答の合計が 100.0%にならないことがある。
- 図表中の「N」又は「n」は Number of case の略で、回答者総数または分類上の回答者数を示す。

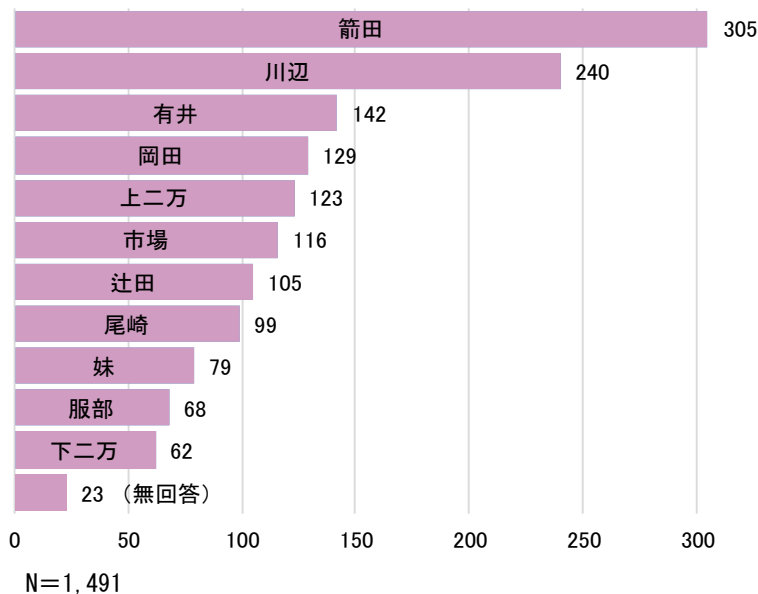
1) 回答世帯の属性

豪雨災害時の世帯についておたずねします。

① 豪雨災害時の住所

■ 豪雨災害時（2018 年 7 月 6 日時点）にお住まいの住所

地区	n	%
真備町箭田	305	20.8%
真備町服部	68	4.6%
真備町妹	79	5.4%
真備町尾崎	99	6.7%
真備町市場	116	7.9%
真備町有井	142	9.7%
真備町岡田	129	8.8%
真備町辻田	105	7.2%
真備町川辺	240	16.3%
真備町下二万	62	4.2%
真備町上二万	123	8.4%
無回答	23	-
計	1,491	-
有効回答(計)	1,468	100.0%

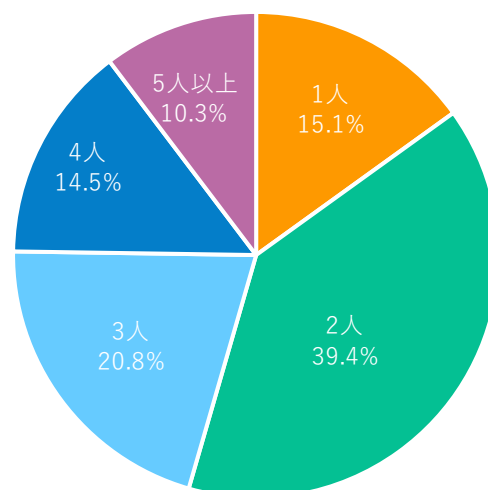


※調査票①：問 1（災害時の住まいの住所）より

② 世帯人員・世帯員の状況

■ 被災時の世帯の状況（世帯人員）

世帯人員	n	%
1人	222	15.1%
2人	581	39.4%
3人	306	20.8%
4人	213	14.5%
5人	102	6.9%
6人	30	2.0%
7人	20	1.4%
無回答	17	-
計	1,491	-
有効回答(計)	1,474	100.0%

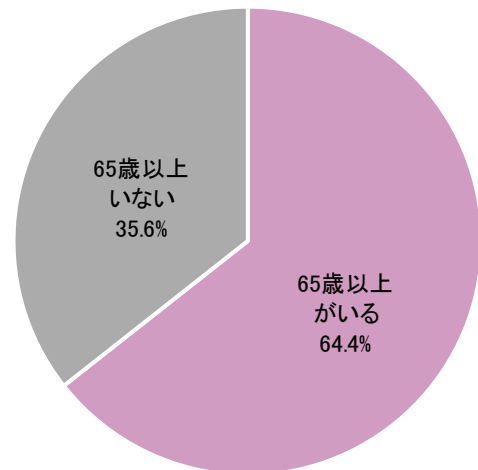


※調査票①：問 3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

■ 被災時の世帯の状況（世帯員における高齢者（65 歳以上）の有無）

65歳以上の有無	n	%
65歳以上がいる	949	64.4%
65歳以上いない	525	35.6%
計	1,474	100.0%

65歳以上人数	n	%
0人	525	35.6%
1人	397	26.9%
2人	529	35.9%
3人	22	1.5%
4人	1	0.1%
計	1,474	100.0%



N=1,474（世帯票無記入を除く）

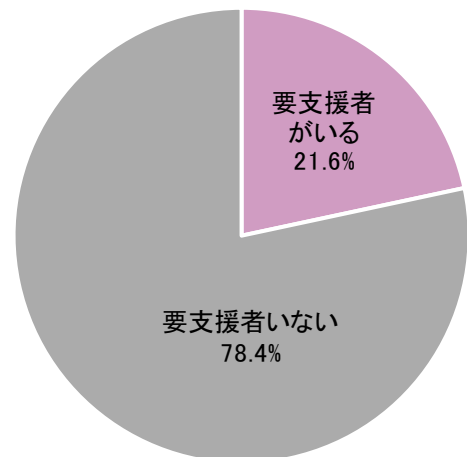
（注：「年齢不詳」は 65 歳未満としてカウント）

※調査票①：問 3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

■ 被災時の世帯の状況（世帯員における要支援者の有無）

要支援者の有無	n	%
要支援者がいる	319	21.6%
要支援者いない	1,155	78.4%
計	1,474	100.0%

要支援者人数	n	%
0人	1,155	78.4%
1人	228	15.5%
2人	79	5.4%
3人以上	12	0.8%
計	1,474	100.0%



N=1,474（世帯票無記入を除く）

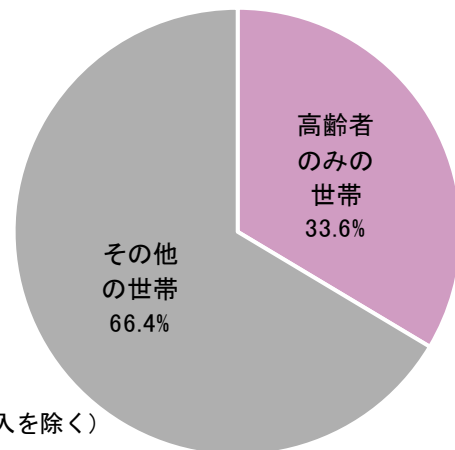
（注 1：「要支援者がいない」には無回答を含む可能性がある）

（注 2：要支援者数は、「要介護認定」、「要支援認定」、「障がい認定」、「避難に支援が必要」と回答した者の計）

※調査票①：問 3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

■ 被災時の世帯の状況（高齢者単独世帯の割合）

高齢者単独世帯	n	%
高齢者のみの世帯	495	33.6%
対象世帯	1,474	100.0%



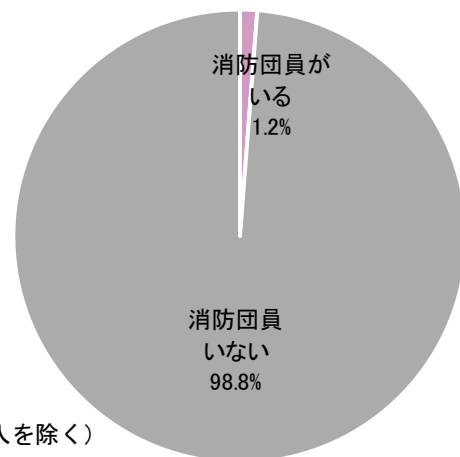
N=1,474（世帯票無記入を除く）

（注：「年齢不詳」は65歳未満としてカウント）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

■ 被災時の世帯の状況（世帯員における消防団員の有無）

消防団員の有無	n	%
消防団員がいる	18	1.2%
消防団員いない	1,456	98.8%
計	1,474	100.0%



【参考】 真備地区消防団員 179人

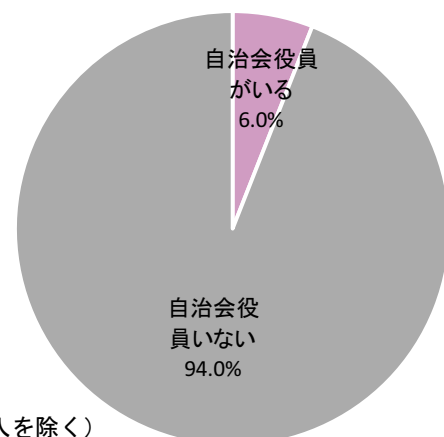
N=1,474（世帯票無記入を除く）

（注：「消防団員がいない」には無回答を含む可能性がある）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

■ 被災時の世帯の状況（世帯員における自治会役員の有無）

自治会役員の有無	n	%
自治会役員がいる	88	6.0%
自治会役員いない	1,386	94.0%
計	1,474	100.0%



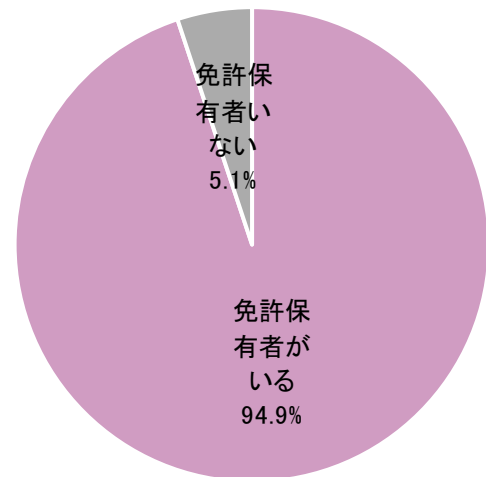
N=1,474（世帯票無記入を除く）

（注：「自治会役員がいない」には無回答を含む可能性がある）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

■ 被災時の世帯の状況（世帯員における免許保有者の有無）

免許保有者の有無	n	%
免許保有者がいる	1,399	94.9%
免許保有者いない	75	5.1%
計	1,474	100.0%



N=1,474（世帯票無記入を除く）

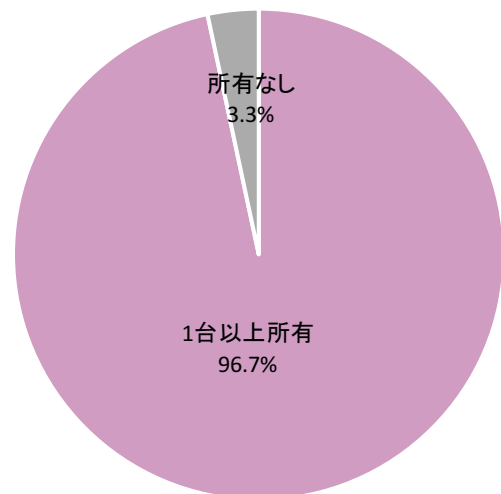
（注：「免許保有者がいない」には無回答を含む可能性がある）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）より

③ 自家用車の所有

■ 世帯における自家用車の所有状況

自家用車の所有	n	%
1台以上所有	1,385	96.7%
所有なし	48	3.3%
無回答	58	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,433	100.0%



N=1,433（無回答除く）

所有台数	n	%
0台	48	3.3%
1台	386	26.9%
2台	639	44.6%
3台	235	16.4%
4台	80	5.6%
5台	34	2.4%
6台	4	0.3%
7台	6	0.4%
8台	1	0.1%
無回答	58	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,433	100.0%

※調査票①：問2（世帯で保有する自動車数）より

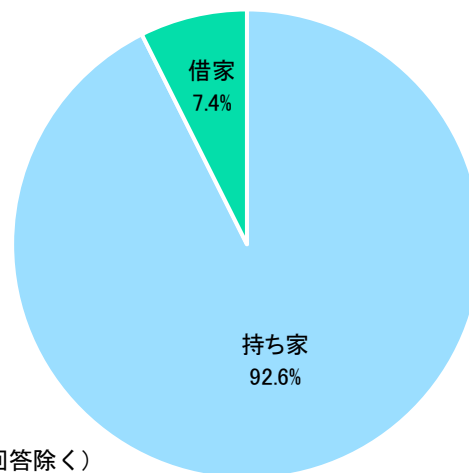
2) 被災時の住まい

豪雨災害時のお住まいについておたずねします。

① 被災時に居住していた住宅について

■ 豪雨災害時の自宅の種類（住宅の所有形態・建て方）

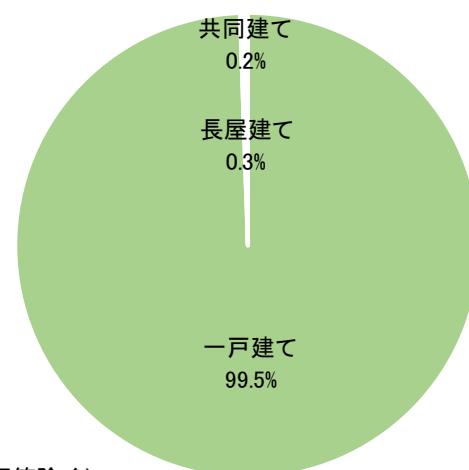
所有形態	n	%
持ち家	1,290	92.6%
借家	103	7.4%
無回答	98	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,393	100.0%



N=1,393（無回答除く）

持ち家

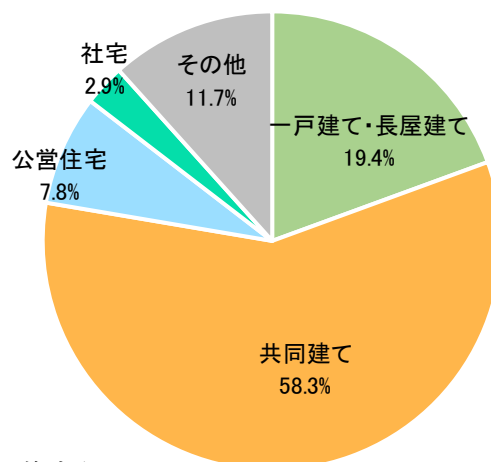
持ち家の建て方	n	%
一戸建て	1,280	99.5%
長屋建て	4	0.3%
共同建て	3	0.2%
その他	0	0.0%
無回答	3	—
計	1,290	—
有効回答(計)	1,287	100.0%



N=1,287（無回答除く）

借家

借家の建て方	n	%
一戸建て・長屋建て	20	19.4%
共同建て	60	58.3%
公営住宅	8	7.8%
社宅	3	2.9%
その他	12	11.7%
無回答	0	—
計	103	—
有効回答(計)	103	100.0%

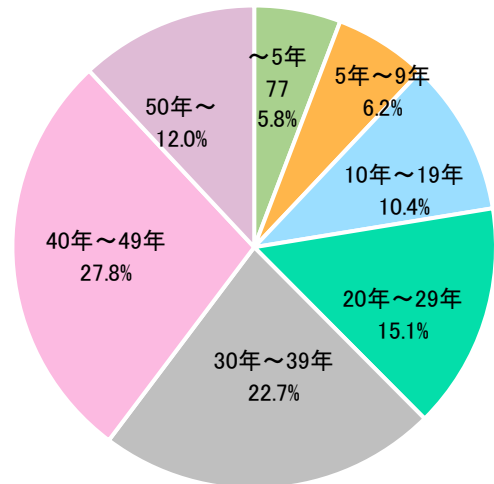


N=103（無回答除く）

※調査票①：問4（豪雨災害時の自宅の種類）より

■ 豪雨災害時の自宅の築年数

築年数	n	%
5年未満	77	5.8%
5年以上10年未満	83	6.2%
10年以上20年未満	138	10.4%
20年以上30年未満	201	15.1%
30年以上40年未満	302	22.7%
40年以上50年未満	369	27.8%
50年以上100年未満	131	9.9%
100年以上	28	2.1%
無回答	162	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,329	100.0%

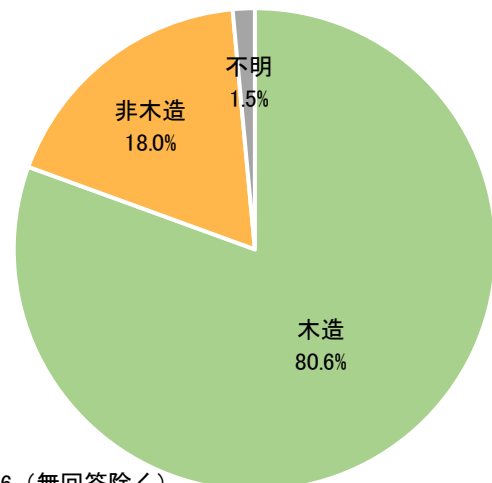


N=1,329 (無回答除く)

※調査票①：問 5 (豪雨災害時の自宅の築年数と構造) より

■ 豪雨災害時の自宅の建て方 (構造)

構造	n	%
木造	1,036	80.6%
非木造	231	18.0%
不明	19	1.5%
無回答	205	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,286	100.0%

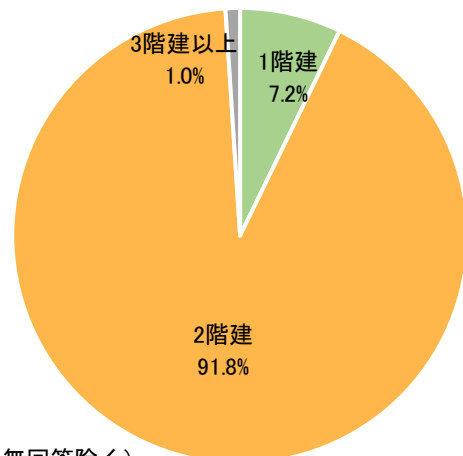


N=1,286 (無回答除く)

※調査票①：問 5 (豪雨災害時の自宅の築年数と構造) より

■ 豪雨災害時の自宅の建て方 (建物階数)

階数	n	%
1階建て	98	7.2%
2階建て	1,250	91.8%
3階建て	10	0.7%
4階建て	2	0.1%
5階建て	2	0.1%
無回答	129	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,362	100.0%

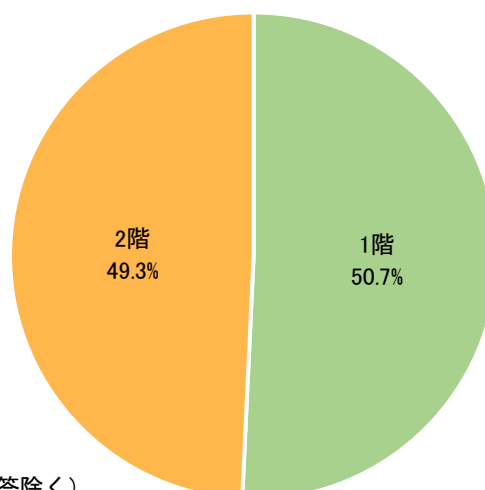


N=1,362 (無回答除く)

※調査票①：問 5 (豪雨災害時の自宅の築年数と構造) より

■ 豪雨災害時の自宅の居住階数（※共同住宅居住者のみ対象）

居住階	n	%
1階	34	50.7%
2階	33	49.3%
無回答	36	—
計	103	—
有効回答(計)	67	100.0%

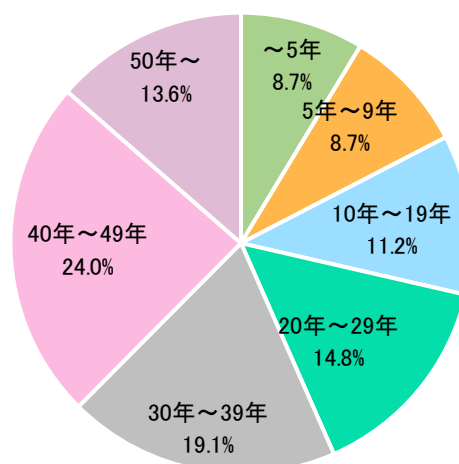


N=67（無回答除く）

※調査票①：問 5（豪雨災害時の自宅の築年数と構造）より

■ 豪雨災害時の自宅の居住年数

築年数	n	%
5年未満	120	8.7%
5年以上10年未満	121	8.7%
10年以上20年未満	155	11.2%
20年以上30年未満	205	14.8%
30年以上40年未満	264	19.1%
40年以上50年未満	332	24.0%
50年以上100年未満	188	13.6%
無回答	106	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,385	100.0%



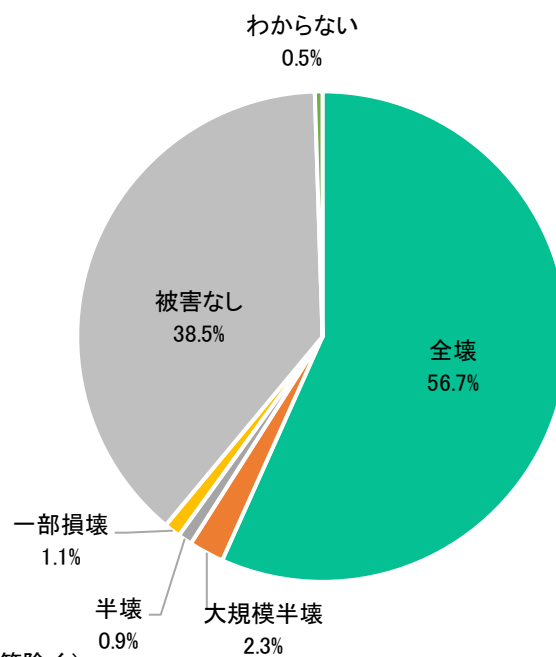
N=1,385（無回答除く）

※調査票①：問 6（豪雨災害時の自宅の居住期間）より

② 自宅の被害状況

■ 自宅の被害程度（被害区分）

被害区分	n	%
全壊	786	56.7%
大規模半壊	32	2.3%
半壊	13	0.9%
一部損壊	15	1.1%
被害なし	533	38.5%
わからない	7	0.5%
無回答	105	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,386	100.0%



N=1,386（無回答除く）

※調査票①：問 7（豪雨災害時の自宅の被害・罹災証明）より

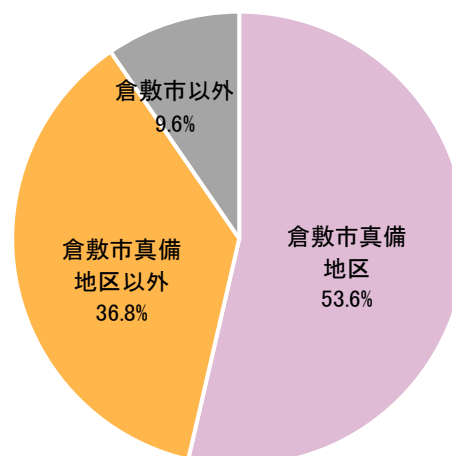
3）被災後の住まい

現在のお住まい・世帯についておたずねします。

① 現在の居住場所（居住する地域）

■ 現在の居住場所（居住する地域）

居住場所	n	%
倉敷市真備地区	749	53.6%
倉敷市真備地区以外	514	36.8%
倉敷市以外	134	9.6%
無回答	94	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,397	100.0%

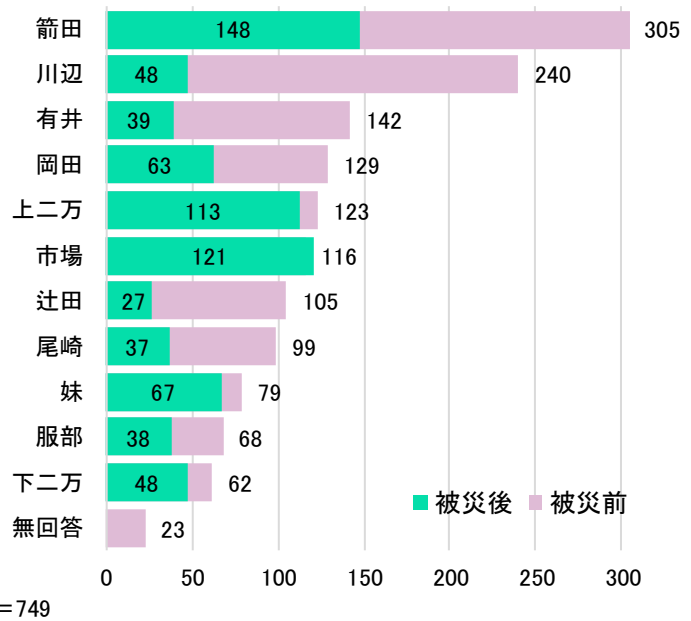


N=1,397（無回答除く）

※調査票①：問 8（現在のお住まいの地域）より

■ 現在の居住場所（真備地区内居住者）

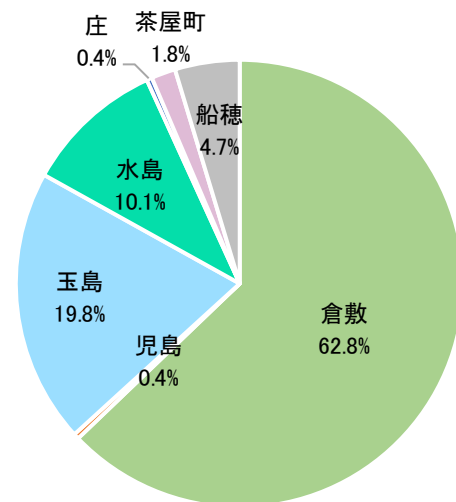
真備地区内	n	%
川辺	48	6.4%
岡田	63	8.4%
箭田	148	19.8%
下二万	48	6.4%
尾崎	37	4.9%
妹	67	8.9%
有井	39	5.2%
市場	121	16.2%
辻田	27	3.6%
上二万	113	15.1%
服部	38	5.1%
無回答	0	-
計	749	-
有効回答(計)	749	100.0%



■ 現在の居住場所（倉敷市内居住者※真備地区内居住者を除く）

市内他地区	n	%
倉敷	323	62.8%
児島	2	0.4%
玉島	102	19.8%
水島	52	10.1%
庄	2	0.4%
茶屋町	9	1.8%
船穂	24	4.7%
無回答	0	-
計	514	-
有効回答(計)	514	100.0%

N=514



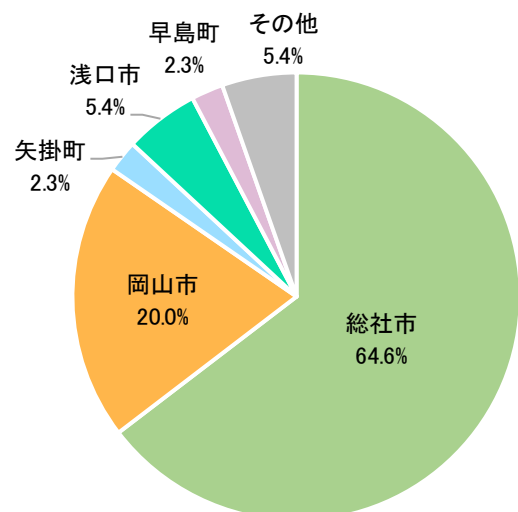
■ 現在の居住場所（倉敷市外居住者）

市外市町村	n	%
総社市	84	64.6%
岡山市	26	20.0%
矢掛町	3	2.3%
浅口市	7	5.4%
早島町	3	2.3%
その他	7	5.4%
無回答	4	-
計	134	-
有効回答(計)	130	100.0%

【その他】

井原市・吉備中央町・福山市・
沖縄県（市町村名不明）

N=130（無回答除く）

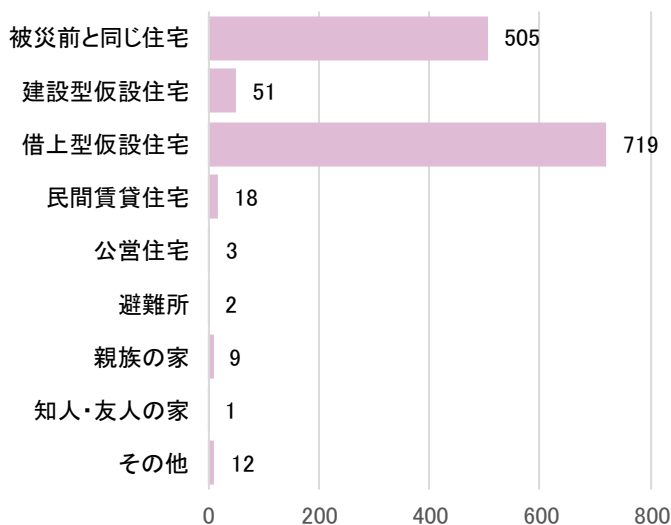


※調査票①：問8（現在のお住まいの地域）より

② 現在の居住場所（生活する住宅について）

■ 現在の居住場所（生活する住宅）

住まい・避難先	n	%
被災前と同じ住宅	505	38.3%
建設型仮設住宅	51	3.9%
借上型仮設住宅	719	54.5%
民間賃貸住宅	18	1.4%
公営住宅	3	0.2%
避難所	2	0.2%
親族の家	9	0.7%
知人・友人の家	1	0.1%
その他	12	0.9%
無回答	171	—
計	1,491	—
有効回答(計)	1,320	100.0%



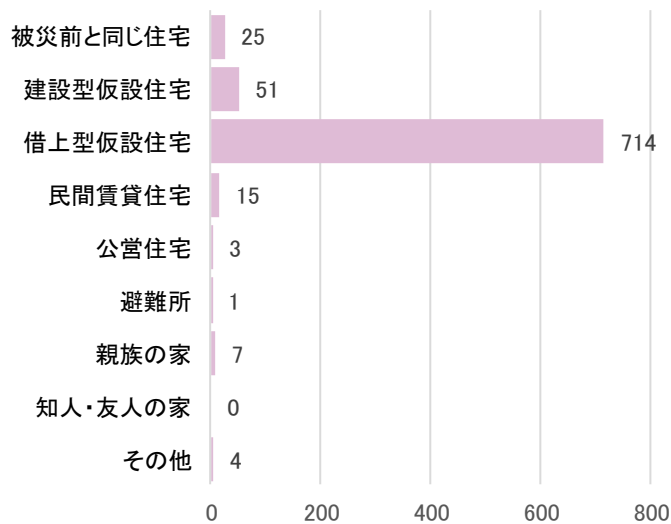
N=1,320（無回答を除く）

【その他】 老人ホーム、新規再建場所 等

※調査票①：問 9（現在の住まい・避難先の種類）より

■ 現在の居住場所（生活する住宅）【被災世帯のみを対象に集計】

住まい・避難先	n	%
被災前と同じ住宅	25	3.0%
建設型仮設住宅	51	6.2%
借上型仮設住宅	714	87.1%
民間賃貸住宅	15	1.8%
公営住宅	3	0.4%
避難所	1	0.1%
親族の家	7	0.9%
知人・友人の家	0	0.0%
その他	4	0.5%
無回答	50	—
計	870	—
有効回答(計)	820	100.0%



N=820（無回答を除く）

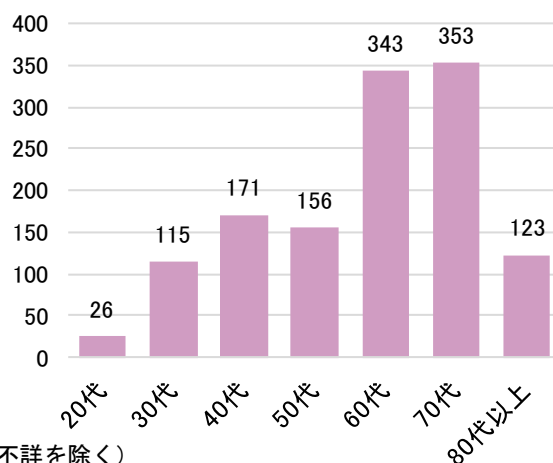
※調査票①：問 9（現在の住まい・避難先の種類）より

4) 回答者の属性（調査票②）

調査票の記入者

■ 年齢層

年代	n	%
20代	26	2.0%
30代	115	8.9%
40代	171	13.3%
50代	156	12.1%
60代	343	26.7%
70代	353	27.4%
80代以上	123	9.6%
不明	217	-
計	1,504	-
有効回答(計)	1,287	100.0%

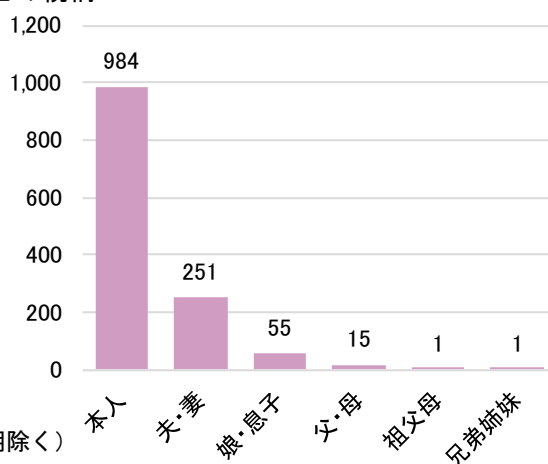


N=1,287（年齢不詳を除く）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）及び調査票②：問1（記入者）より

■ 世帯主との続柄

世帯主との続柄	n	%
本人	984	75.3%
夫・妻	251	19.2%
娘・息子	55	4.2%
父・母	15	1.1%
祖父母	1	0.1%
兄弟姉妹	1	0.1%
不明	197	-
計	1,504	-
有効回答(計)	1,307	100.0%

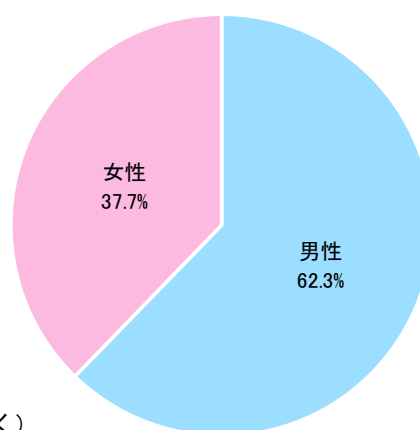


N=1,307（不明除く）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）及び調査票②：問1（記入者）より

■ 性別

性別	n	%
男性	805	62.3%
女性	488	37.7%
不明	211	-
計	1,504	-
有効回答(計)	1,293	100.0%



N=1,293（不明除く）

※調査票①：問3（災害時に生計を共にしていた家族の状況）及び調査票②：問1（記入者）より

5) 豪雨災害時の行動について

豪雨災害時（7月6日～7月7日）の行動についておたずねします。

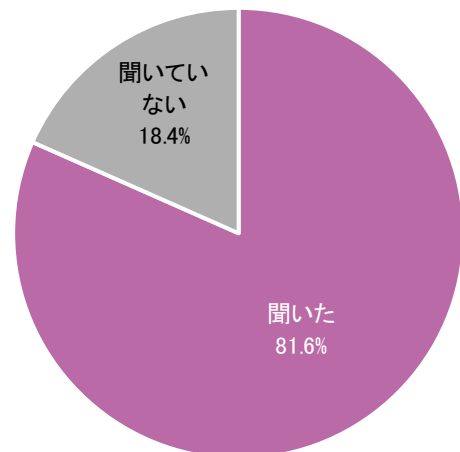
① 避難情報・避難勧告等の伝達

- 約 81.6%が「避難準備・高齢者等避難開始」を聞いたと回答している。
- 約 86.3%が「避難勧告」を聞いたと回答している。
- 約 80.8%が「避難指示（緊急）」を聞いたと回答している。

避難準備・高齢者等避難開始

	n	%
聞いた	1,133	81.6%
聞いていない	255	18.4%
無回答	116	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,388	100.0%

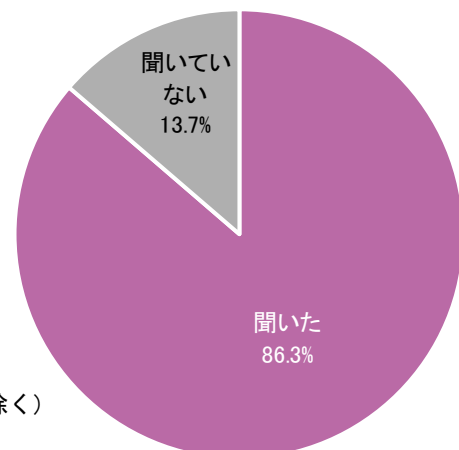
N=1,388（無回答除く）



避難勧告

	n	%
聞いた	1,186	86.3%
聞いていない	188	13.7%
無回答	130	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,374	100.0%

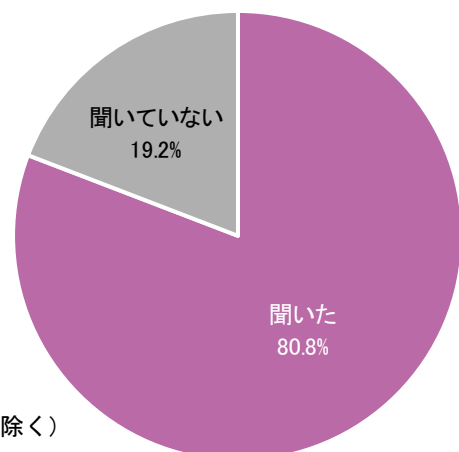
N=1,374（無回答除く）



避難指示(緊急)

	n	%
聞いた	1,084	80.8%
聞いていない	257	19.2%
無回答	163	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,341	100.0%

N=1,341（無回答除く）



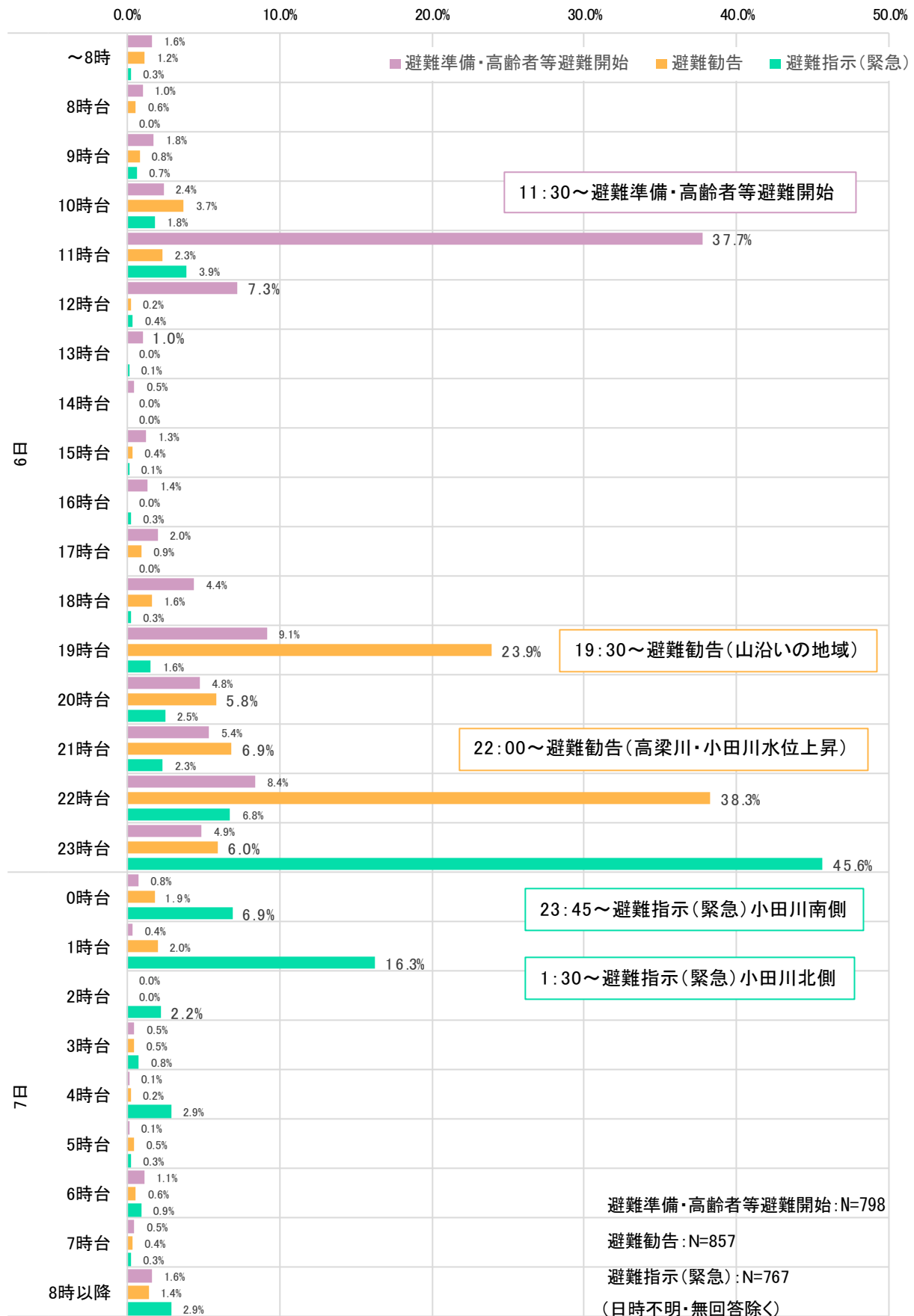
※調査票②：問2（避難に関する情報）より

○ 各避難情報とも発令時刻直後の時間帯に聞いたと回答する回答者が多い。

■ 避難情報・避難勧告等を聞いた日時

		避難準備・高齢者等避難開始			避難勧告			避難指示(緊急)		
		n	%	%	n	%	%	n	%	%
6日	～8時	13	1.6%	6.8%	10	1.2%	11.8%	2	0.3%	21.0%
	8時台	8	1.0%		5	0.6%		0	0.0%	
	9時台	14	1.8%		7	0.8%		5	0.7%	
	10時台	19	2.4%		32	3.7%		14	1.8%	
	11時台	301	37.7%	46.0%	20	2.3%		30	3.9%	
	12時台	58	7.3%		2	0.2%		3	0.4%	
	13時台	8	1.0%		0	0.0%		1	0.1%	
	14時台	4	0.5%	9.5%	0	0.0%		0	0.0%	
	15時台	10	1.3%		3	0.4%		1	0.1%	
	16時台	11	1.4%		0	0.0%		2	0.3%	
	17時台	16	2.0%		8	0.9%		0	0.0%	
	18時台	35	4.4%		14	1.6%		2	0.3%	
	19時台	73	9.1%	32.6%	205	23.9%	80.9%	12	1.6%	
	20時台	38	4.8%		50	5.8%		19	2.5%	
	21時台	43	5.4%		59	6.9%		18	2.3%	
	22時台	67	8.4%		328	38.3%		52	6.8%	
	23時台	39	4.9%		51	6.0%		350	45.6%	
7日	0時台	6	0.8%	5.1%	16	1.9%	7.4%	53	6.9%	68.8%
	1時台	3	0.4%		17	2.0%		125	16.3%	10.2%
	2時台	0	0.0%		0	0.0%		17	2.2%	
	3時台	4	0.5%		4	0.5%		6	0.8%	
	4時台	1	0.1%		2	0.2%		22	2.9%	
	5時台	1	0.1%		4	0.5%		2	0.3%	
	6時台	9	1.1%		5	0.6%		7	0.9%	
	7時台	4	0.5%		3	0.4%		2	0.3%	
	8時以降	13	1.6%		12	1.4%		22	2.9%	
6日時刻不明		120	—		105	—		70	—	
7日時刻不明		3	—		6	—		21	—	
無回答		212	—		218	—		226	—	
計		1,133	—		1,186	—		1,084	—	
有効回答(計)		798	100.0%		857	100.0%		767	100.0%	

6日(金) 11時30分 避難準備・高齢者等避難開始
19時30分 避難勧告(山沿いの地域)
22時00分 避難勧告(高梁川・小田川水位上昇)
23時10分 大雨特別警報(浸水害)
23時45分 避難指示(緊急) 小田川南側
7日(土) 00時30分 小田川氾濫発生情報
01時30分 避難指示(緊急) 小田川北側



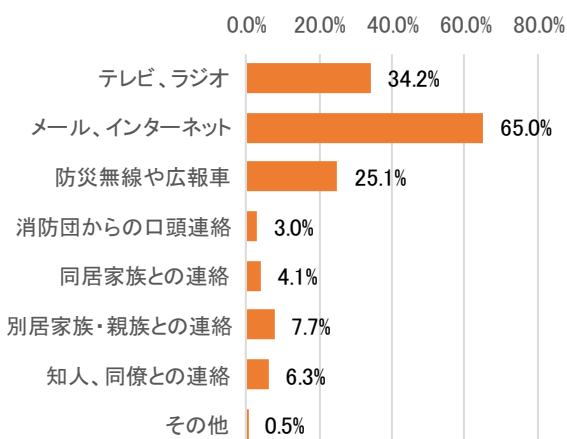
※調査票②：問2（避難に関する情報）より

- 避難に関する情報の情報源（媒体）は、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」「避難指示（緊急）」のいずれも「メール・インターネット」が最も多く、「テレビ、ラジオ」、「防災無線や広報車」が次ぐ。

■ 避難情報・避難勧告等を聞いた情報源

避難準備・高齢者等避難開始

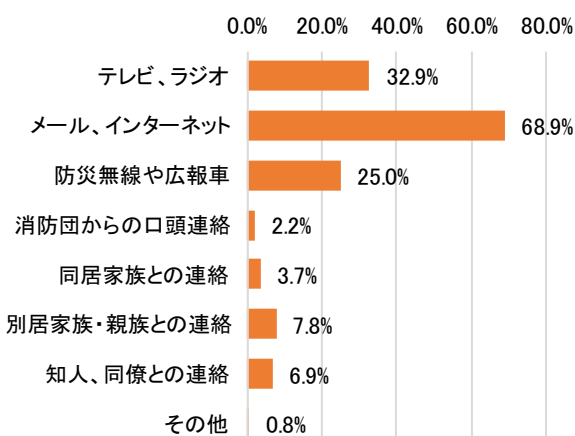
情報源	n	%
テレビ、ラジオ	387	34.2%
メール、インターネット	736	65.0%
防災無線や広報車	284	25.1%
消防団からの口頭連絡	34	3.0%
同居家族との連絡	46	4.1%
別居家族・親族との連絡	87	7.7%
知人、同僚との連絡	71	6.3%
その他	6	0.5%
聞いた人	1,133	—



N=1,133（複数回答）

避難勧告

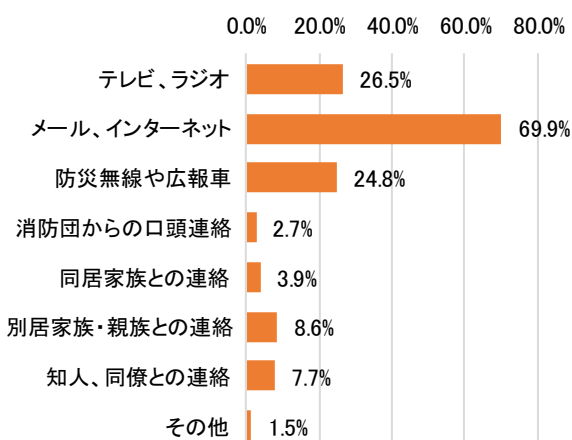
情報源	n	%
テレビ、ラジオ	390	32.9%
メール、インターネット	817	68.9%
防災無線や広報車	297	25.0%
消防団からの口頭連絡	26	2.2%
同居家族との連絡	44	3.7%
別居家族・親族との連絡	92	7.8%
知人、同僚との連絡	82	6.9%
その他	9	0.8%
聞いた人	1,186	—



N=1,186（複数回答）

避難指示（緊急）

情報源	n	%
テレビ、ラジオ	287	26.5%
メール、インターネット	758	69.9%
防災無線や広報車	269	24.8%
消防団からの口頭連絡	29	2.7%
同居家族との連絡	42	3.9%
別居家族・親族との連絡	93	8.6%
知人、同僚との連絡	84	7.7%
その他	16	1.5%
聞いた人	1,084	—



N=1,084（複数回答）

【その他】 町内会長からの電話、支所に連絡して聞いた、警察官からの声かけ、大家からの伝達 等

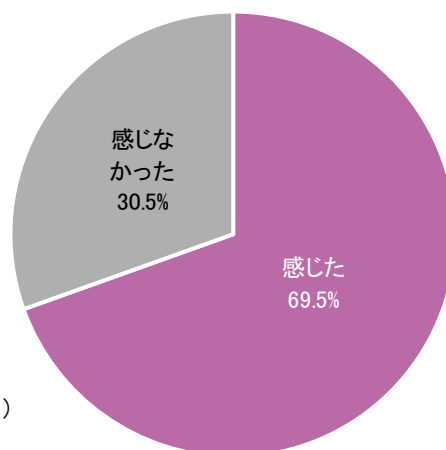
※調査票②：問2（避難に関する情報）より

② 危険性の認知

○ 約 69.5%が「避難を開始する前に、今回の豪雨や川の増水が非常事態（危険）であると感じた」と回答している。

■ 避難開始前に非常事態（危険）であると感じた割合

	n	%
感じた	954	69.5%
感じなかった	418	30.5%
無回答	132	－
計	1,504	－
有効回答(計)	1,372	100.0%



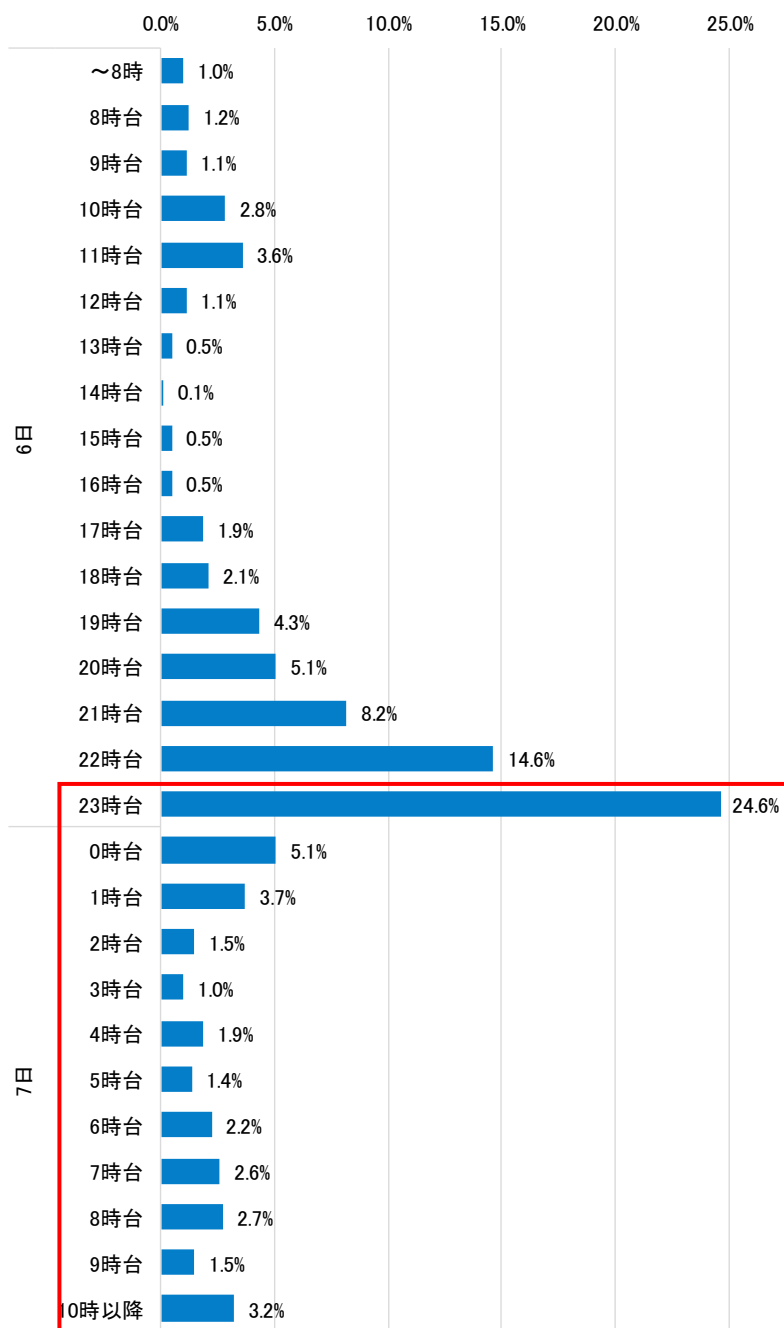
N=1,372（無回答を除く）

（注：回答差は避難には避難をしていない人を含む）
 ※調査票②：問 3（危険性の認知）より

○ 「非常事態（危険）であると感じた」方の約 51.4%が「避難指示（緊急）小田川南側」が発令された 6 日の 23 時台以降に感じたと回答している。

■ 避難開始前に非常事態（危険）であると感じた時刻

		感じた時刻		
		n	%	%
6 日	～8時	8	1.0%	11.4%
	8時台	10	1.2%	
	9時台	9	1.1%	
	10時台	23	2.8%	
	11時台	29	3.6%	
	12時台	9	1.1%	
	13時台	4	0.5%	
	14時台	1	0.1%	
	15時台	4	0.5%	
	16時台	4	0.5%	
	17時台	15	1.9%	
	18時台	17	2.1%	
	19時台	35	4.3%	
	20時台	41	5.1%	
7 日	21時台	66	8.2%	32.2%
	22時台	118	14.6%	
	23時台	199	24.6%	
	0時台	41	5.1%	
	1時台	30	3.7%	
7 日	2時台	12	1.5%	51.4%
	3時台	8	1.0%	
	4時台	15	1.9%	
	5時台	11	1.4%	
	6時台	18	2.2%	
	7時台	21	2.6%	
	8時台	22	2.7%	
	9時台	12	1.5%	
	10時以降	26	3.2%	
6日時刻不明		14	—	
7日時刻不明		1	—	
無回答		131	—	
計		954	—	
有効回答(計)		808	100.0%	



6 日（金） 11 時 30 分 避難準備・高齢者等避難開始
 19 時 30 分 避難勧告（山沿いの地域）
 22 時 00 分 避難勧告（高梁川・小田川水位上昇）
 23 時 45 分 避難指示（緊急） 小田川南側
 7 日（土） 01 時 30 分 避難指示（緊急）小田川北側

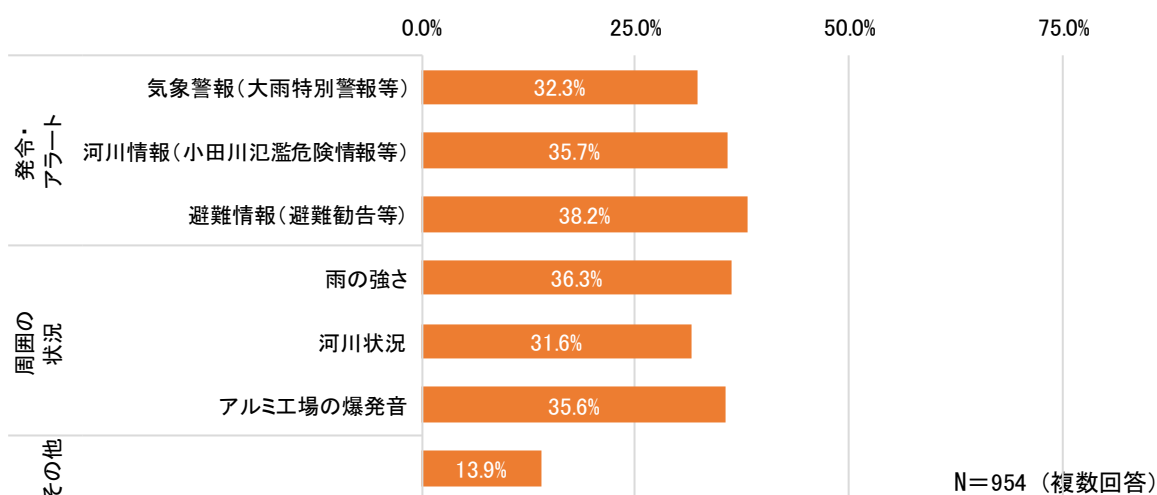
N=808（無回答・日時不明を除く）

※調査票②：問 3（危険性の認知）より

- 「非常事態（危険）である」と感じたきっかけとして、約 38.2%が「避難情報（避難勧告等）の発令・アラート」と回答している。
- 非常事態（危険）であると感じたきっかけを時間帯別にみると、6 日 23 時台に「アルミ工場の爆発音」の回答数が突出している。

■ 避難開始前に非常事態（危険）であると感じたきっかけ（複数回答）

感じたきっかけ		n	%
発令・アラート	気象警報（大雨特別警報等）	308	32.3%
	河川情報（小田川氾濫危険情報等）	341	35.7%
	避難情報（避難勧告等）	364	38.2%
周囲の状況	雨の強さ	346	36.3%
	河川状況	301	31.6%
	アルミ工場の爆発音	340	35.6%
その他		133	13.9%
非常事態であると感じた人		954	—



【その他】 自宅の浸水や道路等の冠水などに関する内容 71 件
 家族や友人・知人・関係者等、他者からの連絡をきっかけとする内容 34 件
 テレビ・新聞・インターネット等（天気予報含む）の媒体による情報をきっかけとする内容 11 件

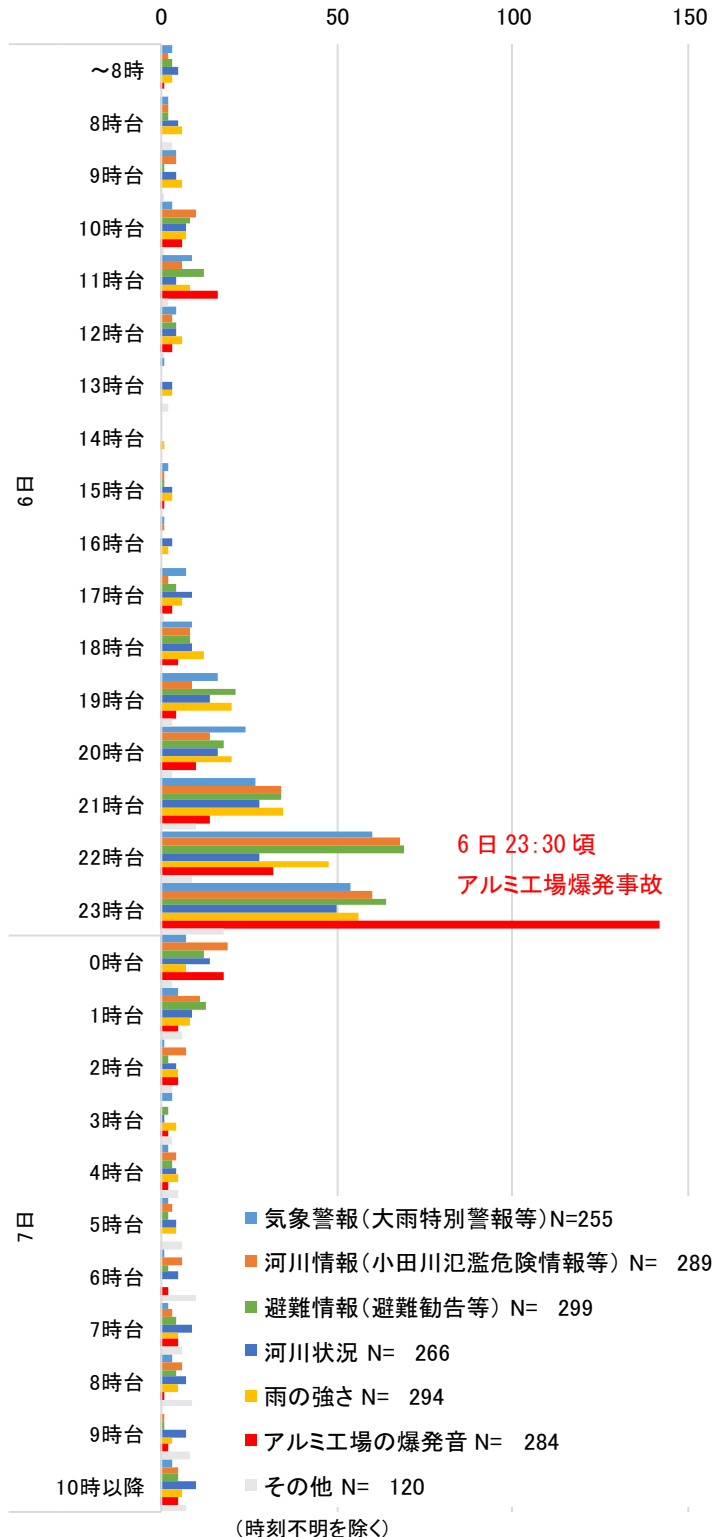
※調査票②：問 3（危険性の認知）より

■ 避難開始前に非常事態（危険）であると感じた時刻・きっかけ

		感じたきっかけ						
		1	2	3	4	5	6	7
6日	～8時	3	2	3	3	5	1	0
	8時台	2	2	2	6	5	0	3
	9時台	4	4	1	6	4	0	1
	10時台	3	10	8	7	7	6	1
	11時台	9	6	12	8	4	16	2
	12時台	4	3	4	6	4	3	1
	13時台	1	0	0	3	3	0	2
	14時台	0	0	0	1	0	0	0
	15時台	2	1	1	3	3	1	0
	16時台	1	1	0	2	3	0	0
	17時台	7	2	4	6	9	3	1
	18時台	9	8	8	12	9	5	0
	19時台	16	9	21	20	14	4	3
	20時台	24	14	18	20	16	10	3
	21時台	27	34	34	35	28	14	10
	22時台	60	68	69	48	28	32	9
	23時台	54	60	64	56	50	142	18
7日	0時台	7	19	12	7	14	18	3
	1時台	5	11	13	8	9	5	6
	2時台	1	7	2	5	4	5	3
	3時台	3	0	2	4	1	2	3
	4時台	2	4	3	5	4	2	5
	5時台	2	3	2	4	4	0	6
	6時台	1	6	2	0	5	2	10
	7時台	2	3	4	5	9	5	6
	8時台	3	6	4	5	7	1	9
	9時台	0	1	1	3	7	2	8
	10時以降	3	5	5	6	10	5	7
時刻不明		53	52	65	52	35	56	13
計		308	341	364	346	301	340	133
有効回答(計)		255	289	299	294	266	284	120

【感じたきっかけ】

- 1： 気象警報（大雨特別警報等）
- 2： 河川情報（小田川氾濫危険情報等）
- 3： 避難情報（避難勧告等）
- 4： 雨の強さ
- 5： 河川状況
- 6： アルミ工場の爆発音
- 7： その他



6日（金） 11時30分 避難準備・高齢者等避難開始
 19時30分 避難勧告（山沿いの地域）
 22時00分 避難勧告（高梁川・小田川水位上昇）
 23時45分 避難指示（緊急） 小田川南側
 7日（土） 01時30分 避難指示（緊急） 小田川北側

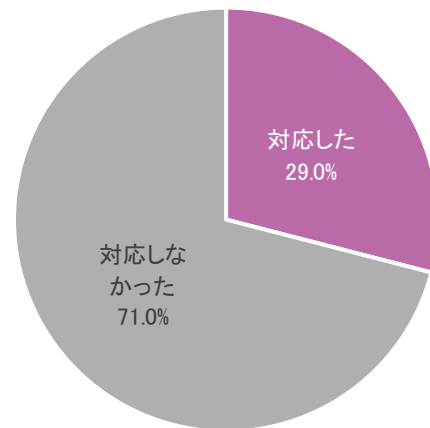
※調査票②：問3（危険性の認知）より

③ 自宅内での被害対策・垂直避難

- 約 29.0%が「被害を防ぐために、家財道具や畳などを自宅内で移動させたり、土嚢を積んだりするなどの対応を行った」と回答している。

■ 自宅内で被害を防ぐための対応（家財道具や畳の移動・土嚢積み等）をした割合

被害対策の有無	n	%
対応した	307	29.0%
対応しなかった	751	71.0%
無回答	446	—
計	1,504	
有効回答(計)	1,058	100.0%



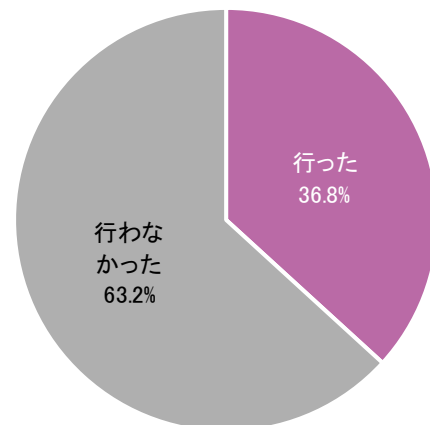
N=1,058（無回答を除く）

※調査票②：問 4（自宅内での対策）より

- 約 36.8%が「自宅内の高い場所（2 階など）に上がるなど、外出しない避難を行った」と回答している。

■ 自宅内の高い場所（2 階など）に上がるなど外出しない避難をした割合

垂直避難の有無	n	%
行った	355	36.8%
行わなかった	610	63.2%
無回答	539	—
計	1,504	
有効回答(計)	965	100.0%

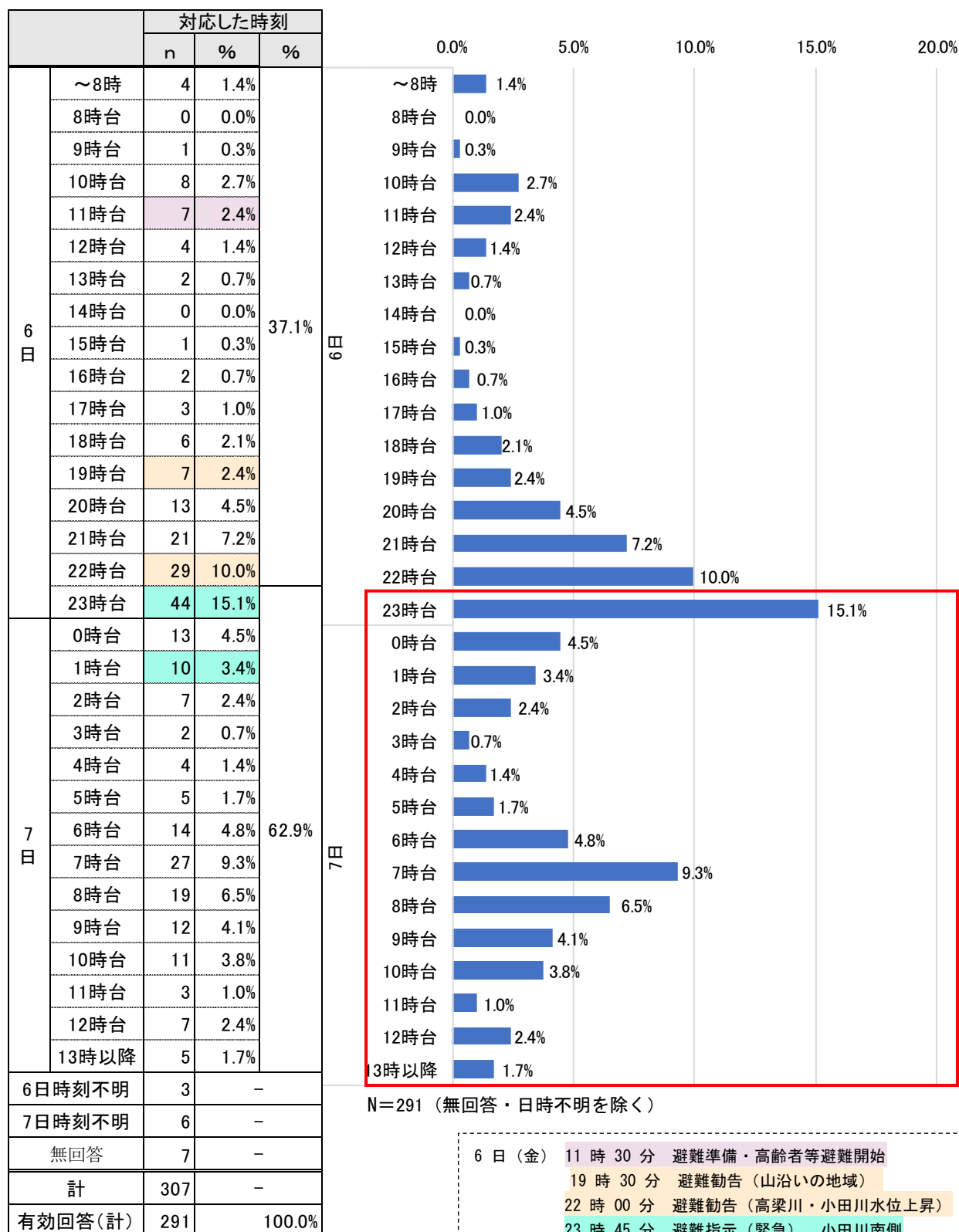


N=965（無回答を除く）

※調査票②：問 4（自宅内での対策）より

○ 自宅内で被害を防ぐための対応を行った時刻として、約 62.9%が「避難指示（緊急）小田川南側」が発令された 6 日の 23 時台以降に行ったと回答している。

■ 自宅内で被害を防ぐための対応（家財道具や畳の移動・土嚢積み等）を行った時刻

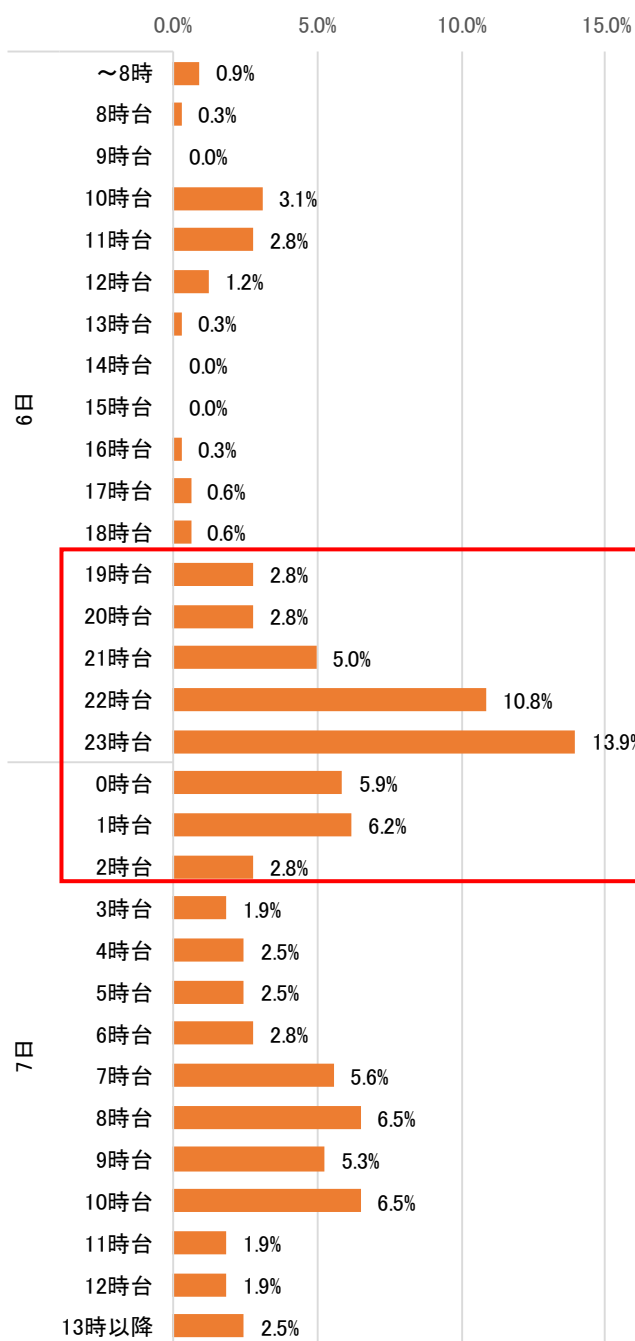


※調査票②：問 4（自宅内での対策）より

○ 自宅内の高い場所（2階など）に上がるなど外出しない避難を行った時刻として、約68.4%が「避難指示（緊急）小田川南側」が発令された6日の23時台以降に行ったと回答している

■ 自宅内の高い場所（2階など）に上がるなど外出しない避難を行った時刻

		行った時刻		
		n	%	%
6日	～8時	3	0.9%	31.6%
	8時台	1	0.3%	
	9時台	0	0.0%	
	10時台	10	3.1%	
	11時台	9	2.8%	
	12時台	4	1.2%	
	13時台	1	0.3%	
	14時台	0	0.0%	
	15時台	0	0.0%	
	16時台	1	0.3%	
	17時台	2	0.6%	
	18時台	2	0.6%	
	19時台	9	2.8%	
	20時台	9	2.8%	
	21時台	16	5.0%	
	22時台	35	10.8%	
	23時台	45	13.9%	
7日	0時台	19	5.9%	68.4%
	1時台	20	6.2%	
	2時台	9	2.8%	
	3時台	6	1.9%	
	4時台	8	2.5%	
	5時台	8	2.5%	
	6時台	9	2.8%	
	7時台	18	5.6%	
	8時台	21	6.5%	
	9時台	17	5.3%	
	10時台	21	6.5%	
	11時台	6	1.9%	
	12時台	6	1.9%	
	13時以降	8	2.5%	
6日時刻不明		2	—	
7日時刻不明		7	—	
無回答		23	—	
計		355	—	
有効回答(計)		323	100.0%	



N=323（無回答・日時不明を除く）

6日（金） 11時30分 避難準備・高齢者等避難開始
 19時30分 避難勧告（山沿いの地域）
 22時00分 避難勧告（高梁川・小田川水位上昇）
 23時45分 避難指示（緊急）小田川南側
 7日（土） 01時30分 避難指示（緊急）小田川北側

※調査票②：問4（自宅内での対策）より

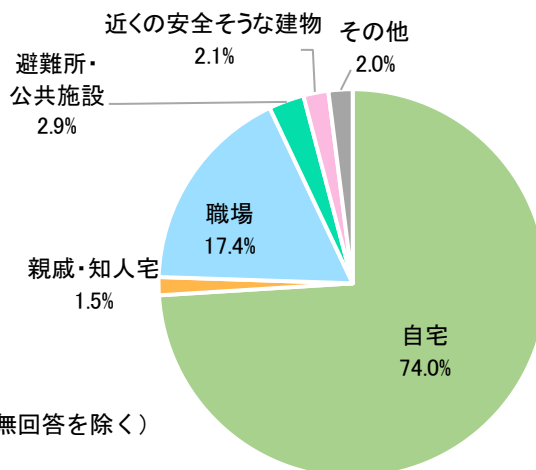
6) 「避難」行動について

① 7月6日の10時頃にいた場所

- 7月6日の10時頃にいた場所として、約74.0%が「自宅」、約17.4%が「職場」と回答している。

■ 7月6日の10時頃にいた場所

施設の種類	n	%
自宅	1,031	74.0%
親戚・知人宅	21	1.5%
職場	243	17.4%
避難所・公共施設	41	2.9%
近くの安全そうな建物	29	2.1%
その他	28	2.0%
無回答	111	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,393	100.0%



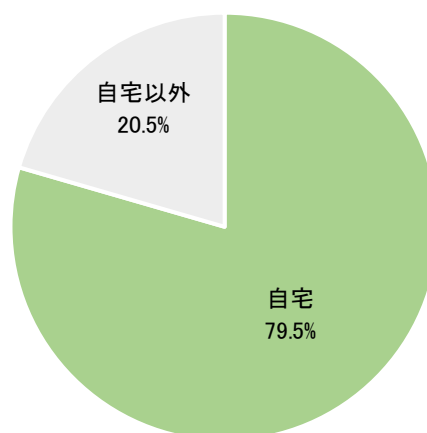
※調査票②：問5（施設の種類）より

② 7月6日の22時台（22：00～22：59）にいた場所

- 回答より、避難勧告（高梁川・小田川の水位上昇）が発令された7月6日の22時台時点では、約79.5%が自宅にいたと推定される。
- また、同時間帯に約8.0%が避難所・公共施設にいたと推定される。

■ 7月6日の22時頃にいた場所（推定）1/2

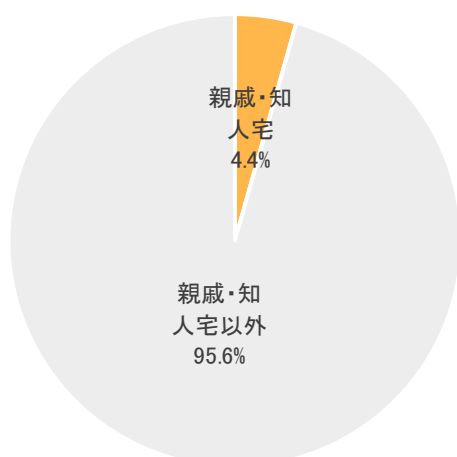
施設の種類	n	%
自宅	1,108	79.5%
親戚・知人宅	61	4.4%
職場	78	5.6%
避難所・公共施設	112	8.0%
近くの安全そうな建物	36	2.6%
その他	39	2.8%
無回答	110	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,394	100.0%



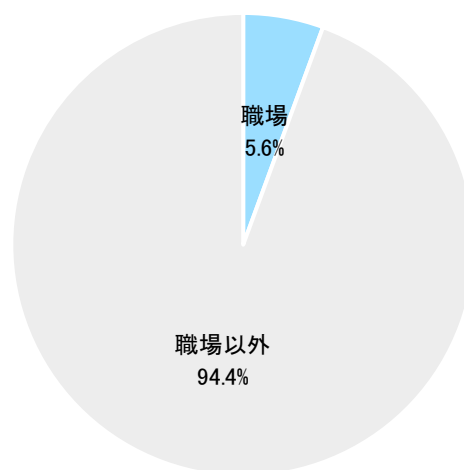
（注：7月6日の22時台前後の行動・滞在先より集計、上記時間帯に移動した回答者（2箇所以上の場所にいた回答者）も含まれるため、表内の割合の合計した値は100%を超える場合がある）

※調査票②：問5（施設の種類）より

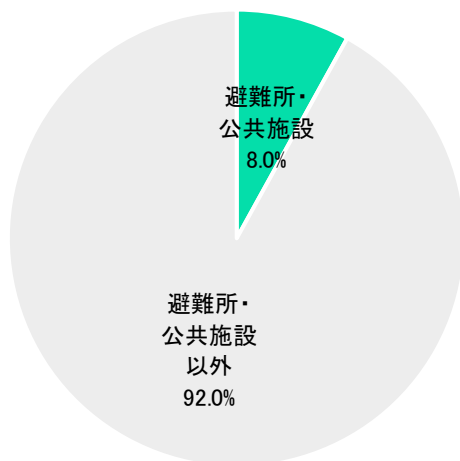
■ 7月6日の22時頃にいた場所（推定）2/2



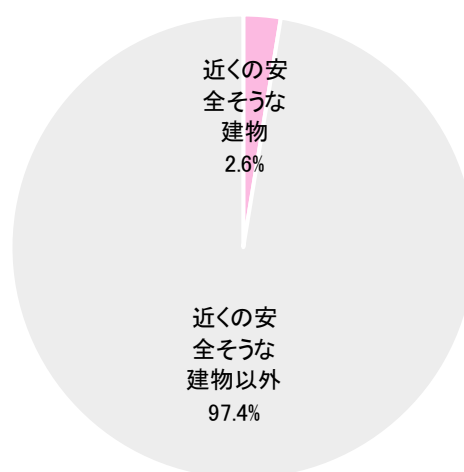
N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）

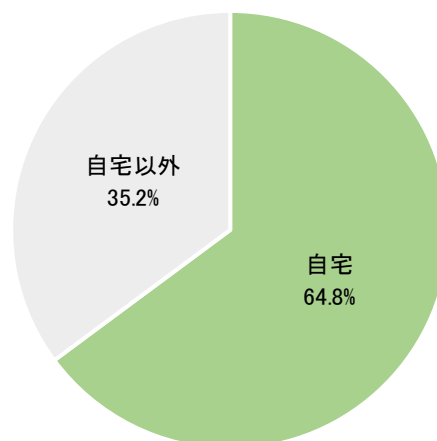
（注：7月6日の22時台前後の行動・滞在先より集計）
 ※調査票②：問5（施設の種類）より

③ 7月7日の1時台（1：00～1：59）にいた場所

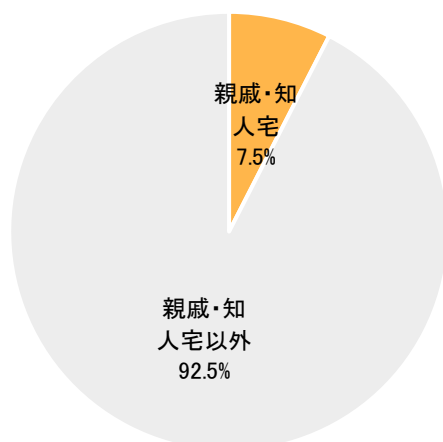
- 避難指示（緊急）（小田川北側）が発令された7月7日の1時台時点では、約64.8%が自宅にいたと推定される。
- また、同時間帯に約16.5%が避難所・公共施設に、約5.7%が近くの安全な場所にいたと推定される。

■ 7月7日の1時頃にいた場所（推定）1/2

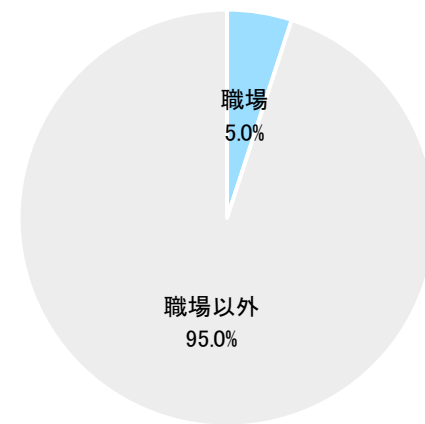
施設の種類	n	%
自宅	904	64.8%
親戚・知人宅	105	7.5%
職場	70	5.0%
避難所・公共施設	230	16.5%
近くの安全そうな建物	80	5.7%
その他	38	2.7%
無回答	110	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,394	100.0%



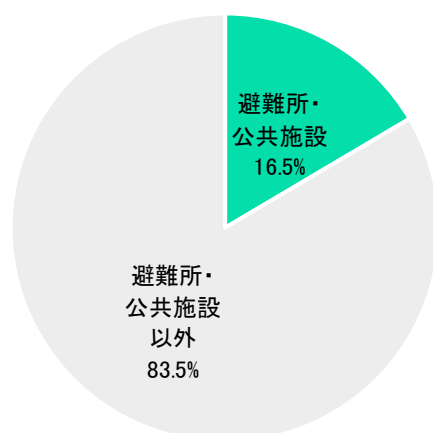
N=1,394（無回答を除く）



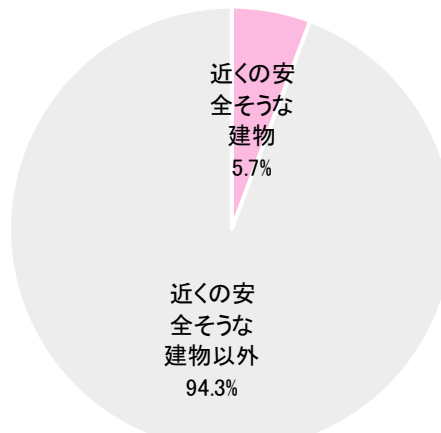
N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）

（注：7月7日の1時台前後の行動・滞在先より集計、上記時間帯に移動した回答者（2箇所以上の場所にいた回答者）も含まれるため、表内の割合の合計した値は100%を超える場合がある）

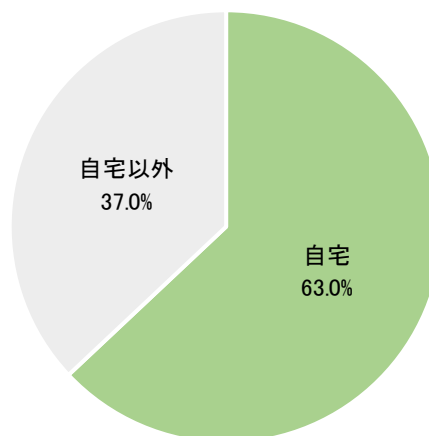
※調査票②：問5（施設の種類）より

④ 7月7日の8時台（8：00～8：59）にいた場所

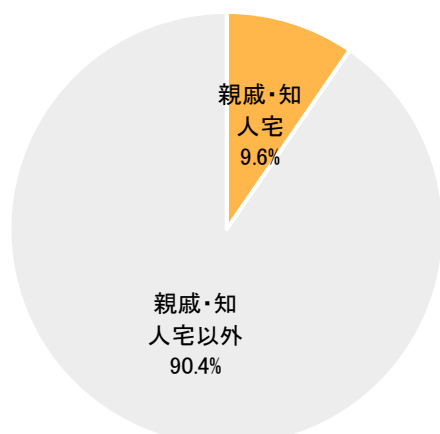
- 浸水範囲が拡大した7月7日の8時台時点では、約21.2%が避難所・公共施設にいたと推定される。
- 一方で自宅にいた方も63.0%いたと推定される。

■ 7月7日の8時頃にいた場所（推定）

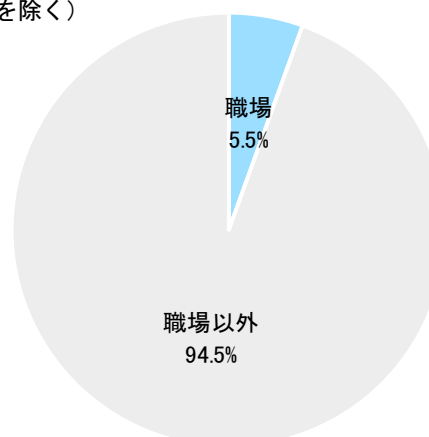
施設の種類	n	%
自宅	822	63.0%
親戚・知人宅	125	9.6%
職場	72	5.5%
避難所・公共施設	277	21.2%
近くの安全そうな建物	92	7.0%
その他	70	5.4%
無回答	199	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,305	100.0%



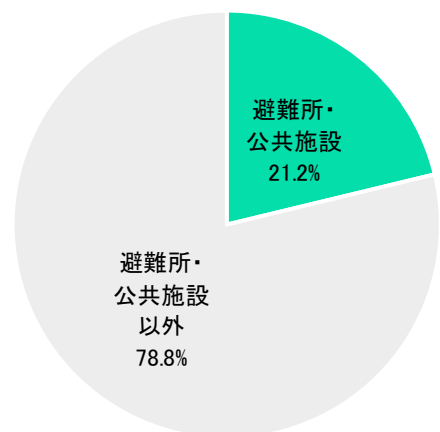
N=1,394（無回答を除く）



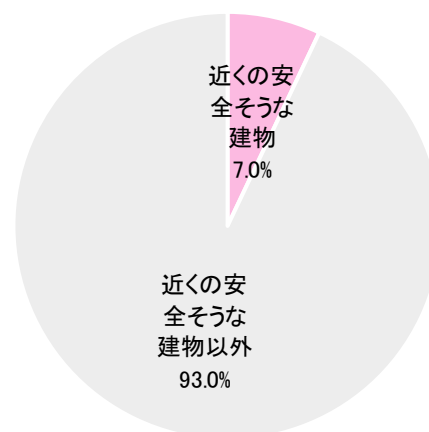
N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）



N=1,394（無回答を除く）

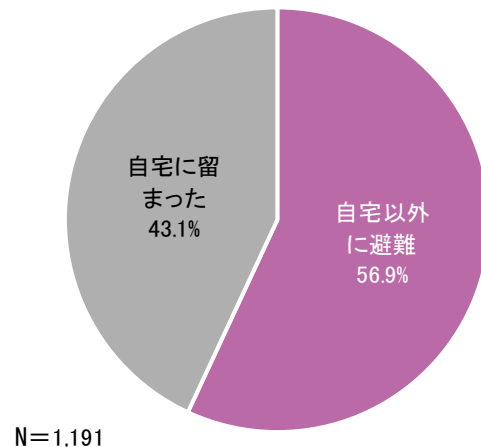
（注：7月7日の8時台前後の行動・滞在先より集計、上記時間帯に移動した回答者（2箇所以上の場所にいた回答者）も含まれるため、表内の割合の合計した値は100%を超える場合がある）
 ※調査票②：問5（施設の種類）より

⑤ 自宅以外の場所に避難した割合

○ 今回の災害で約 56.9%が「自宅以外の場所に避難した」と回答している。

■ 自宅以外の場所に避難した人の割合（全回答者）

避難の有無	n	%
自宅以外に避難	678	56.9%
自宅に留まった	513	43.1%
無回答	313	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,191	100.0%

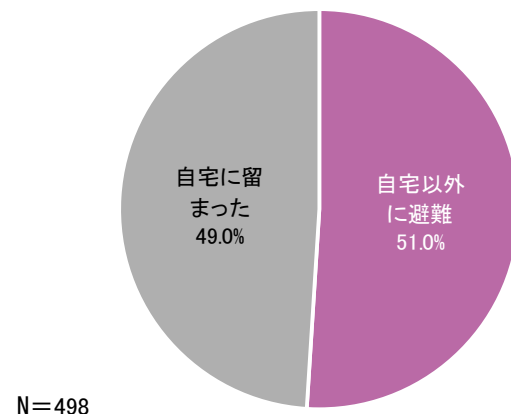


(注：自宅等で救助され、その後避難所で避難生活を送られた方は避難行動として扱っていない。)
※調査票②：問 5（移動目的）及び問 8（避難の有無）、問 11（自由記述）より整理。

○ 高齢者（65 歳以上）に限定してみると、約 51.0%が「自宅以外の場所に避難した」と回答している。

■ 自宅以外の場所に避難した人の割合【65 歳以上の回答者】

避難の有無	n	%
自宅以外に避難	254	51.0%
自宅に留まった	244	49.0%
無回答	176	—
計	674	—
有効回答(計)	498	100.0%



(注：自宅等で救助され、その後避難所で避難生活を送られた方は避難行動として扱っていない。)
※調査票②：問 5（移動目的）及び問 8（避難の有無）、問 11（自由記述）より整理。

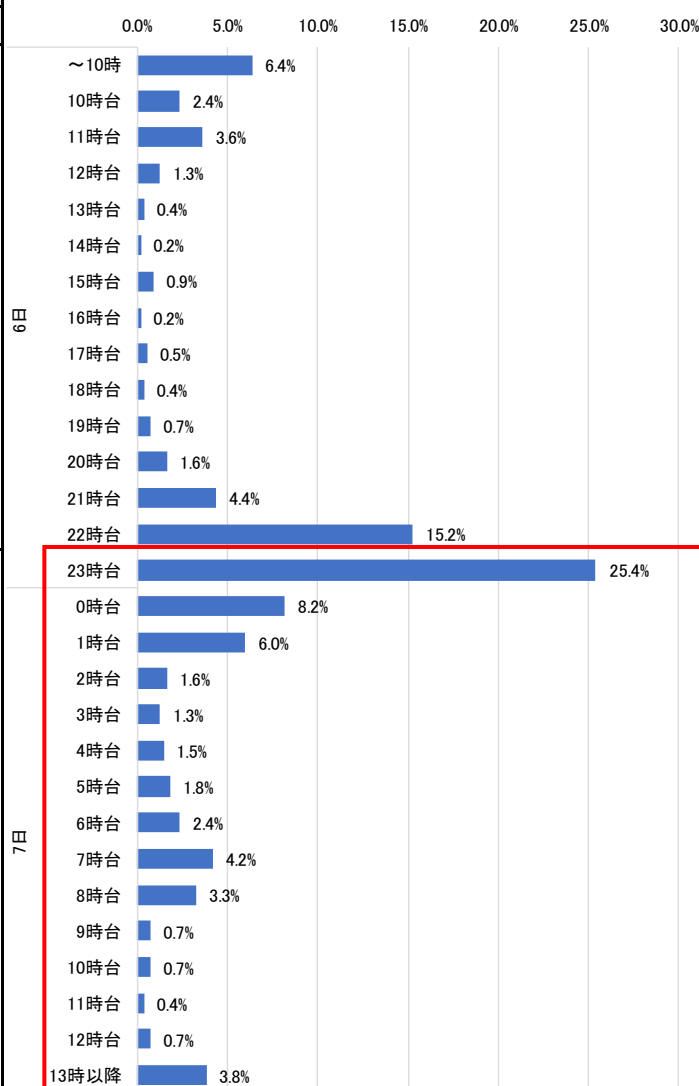
(問 1：記入者とのクロス集計)

⑥ 自宅以外の場所に避難を開始した時刻

○ 自宅以外の場所に避難を開始した時刻として、自宅以外の場所に避難をした約 61.9% が「避難指示（緊急）小田川南側」が発令された 6 日の 23 時台以降と回答している。

■ 自宅以外の場所に避難を開始した時刻

		避難開始時刻	
		n	%
6 日	～10時	35	6.4%
	10時台	13	2.4%
	11時台	20	3.6%
	12時台	7	1.3%
	13時台	2	0.4%
	14時台	1	0.2%
	15時台	5	0.9%
	16時台	1	0.2%
	17時台	3	0.5%
	18時台	2	0.4%
	19時台	4	0.7%
	20時台	9	1.6%
	21時台	24	4.4%
	22時台	84	15.2%
	23時台	140	25.4%
7 日	0時台	45	8.2%
	1時台	33	6.0%
	2時台	9	1.6%
	3時台	7	1.3%
	4時台	8	1.5%
	5時台	10	1.8%
	6時台	13	2.4%
	7時台	23	4.2%
	8時台	18	3.3%
	9時台	4	0.7%
	10時台	4	0.7%
	11時台	2	0.4%
	12時台	4	0.7%
	13時以降	21	3.8%
時刻不明		127	—
計		678	—
有効回答(計)		551	100.0%



N=551

6 日 (金) 11 時 30 分 避難準備・高齢者等避難開始
 19 時 30 分 避難勧告 (山沿いの地域)
 22 時 00 分 避難勧告 (高梁川・小田川水位上昇)
 23 時 45 分 避難指示 (緊急) 小田川南側
 7 日 (土) 01 時 30 分 避難指示 (緊急) 小田川北側

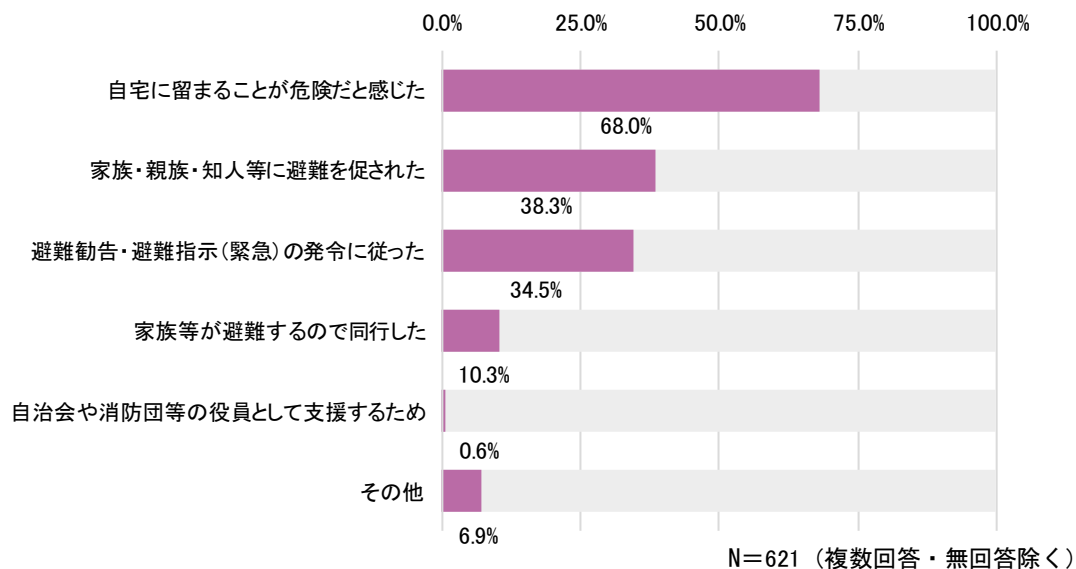
※調査票②：問 5 (移動目的・出発時刻) 及び問 8 (避難の有無)、問 11 (自由記述) より整理。

⑦ 自宅以外の避難場所に避難した理由

○ 自宅以外の場所に避難した理由として、自宅以外の場所に避難をした約 68.0%が「自宅に留まることが危険だと感じたため」と回答している。

■ 自宅以外の場所に避難した主な理由

避難(移動)した理由	n	%
自宅に留まることが危険だと感じた	422	68.0%
家族・親族・知人等に避難を促された	238	38.3%
避難勧告・避難指示(緊急)の発令に従った	214	34.5%
家族等が避難するので同行した	64	10.3%
自治会や消防団等の役員として支援するため	4	0.6%
その他	43	6.9%
無回答	57	—
計	678	—
有効回答(計)	621	100.0%



【その他】

- ・アルミ工場の爆発に関する内容 3件
- ・停電・断水・下水などライフラインの断絶 1件
- ・自宅周辺の冠水などに関する内容 8件
- ・小さな子どもや高齢者等、同居人に関する内容 4件
- ・消防団や警察等の呼びかけに関する内容 4件
- ・車を安全な場所に移動させることを目的とした内容 4件
- ・その他「とりあえず避難した」「テレビを見ることができなくなったため」「帰宅が困難であったため」「近所の人が避難していたから」「真備以外の場所で仕事をしていた」「旅行中であった」等

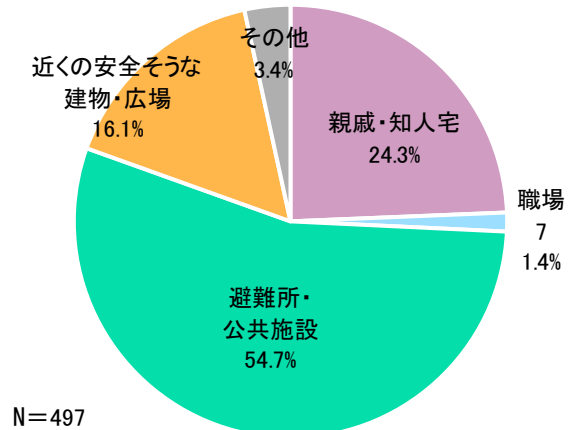
※調査票②：問 8（自宅以外の場所に避難（移動）した理由）より

⑧ 自宅以外で避難をした場所（種類）

○ 自宅以外の場所に避難をした約 54.7%が「最初に避難をした場所」として「避難所・公共施設」と回答している。

■ 自宅以外で最初に避難をした場所（種類）

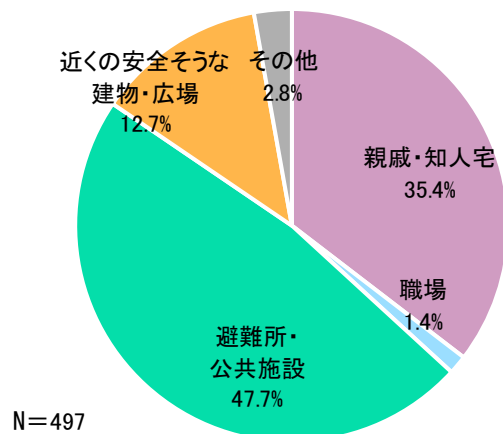
最初の避難先	n	%
親戚・知人宅	121	24.3%
職場	7	1.4%
避難所・公共施設	272	54.7%
近くの安全そうな建物・広場	80	16.1%
その他	17	3.4%
無回答	181	—
計	678	
有効回答(計)	497	100.0%



※調査票②：問 5（目的地（施設の種類）：移動目的が避難を抽出）より

■ 自宅以外で最後に避難をした場所（種類）

最後の避難先	n	%
親戚・知人宅	176	35.4%
職場	7	1.4%
避難所・公共施設	237	47.7%
近くの安全そうな建物・広場	63	12.7%
その他	14	2.8%
無回答	181	—
計	678	
有効回答(計)	497	100.0%



（注：最初の避難先から移動しなかった場合を含む）

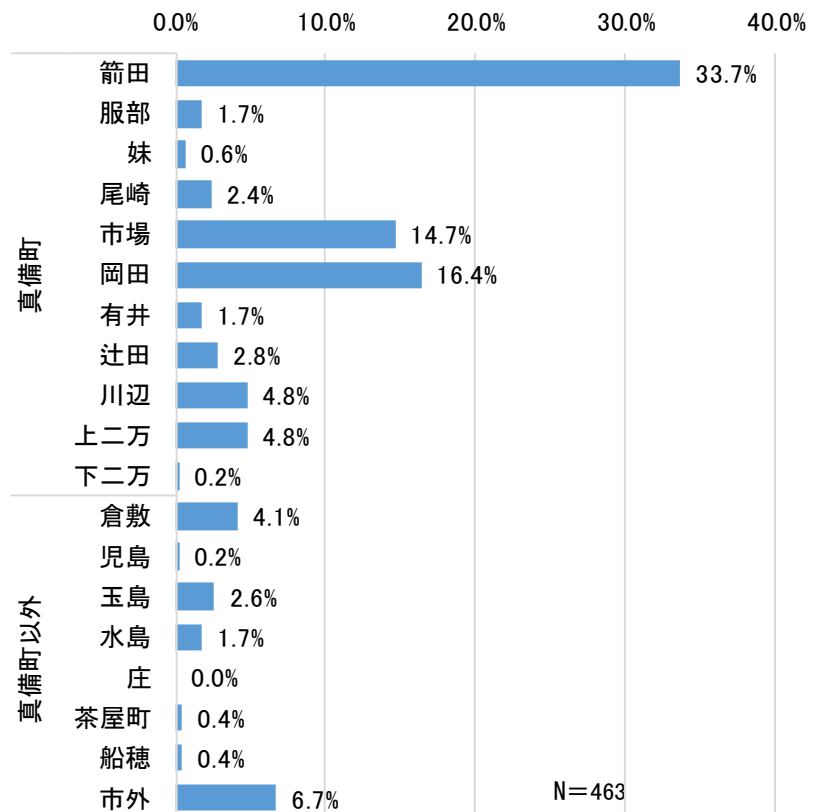
※調査票②：問 5（目的地（施設の種類）：移動目的が避難を抽出）より

⑨ 自宅以外で避難をした場所（最初に避難した地区）

○ 自宅以外の場所に避難をした約 33.7%が最初の避難先として「真備町箭田」と回答している。

■ 自宅以外で最初に避難をした場所（避難をした地区）

最初の避難先	n	%
真備町		
箭田	156	33.7%
服部	8	1.7%
妹	3	0.6%
尾崎	11	2.4%
市場	68	14.7%
岡田	76	16.4%
有井	8	1.7%
辻田	13	2.8%
川辺	22	4.8%
上二万	22	4.8%
下二万	1	0.2%
真備町以外		
倉敷	19	4.1%
児島	1	0.2%
玉島	12	2.6%
水島	8	1.7%
庄	0	0.0%
茶屋町	2	0.4%
船穂	2	0.4%
市外	31	6.7%
不明	215	-
計	678	-
有効回答(計)	463	100.0%



N=463

(避難先不明を除く)3

【市外】総社市、岡山市、金光町、高梁市等

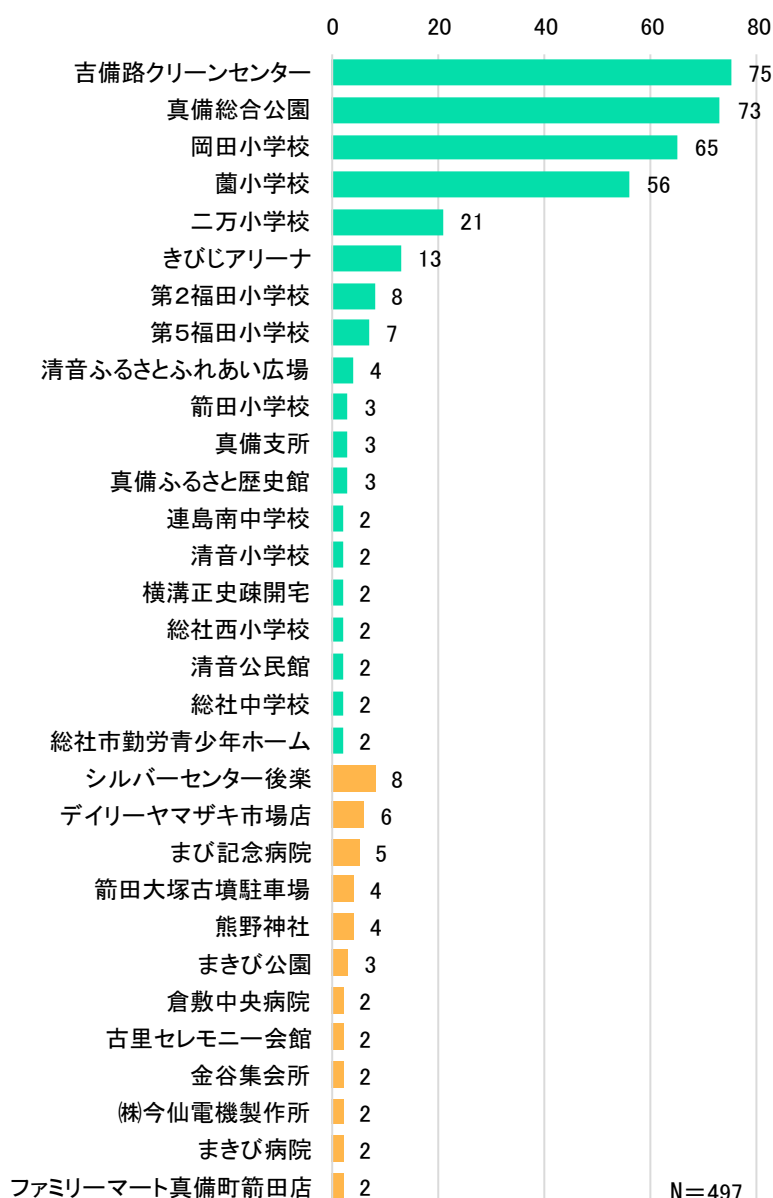
※調査票②：問 5（目的地（住所）：移動目的が避難を抽出）より）

⑩ 自宅以外で避難をした場所（具体的な場所）

- 避難先としては、高台にある「吉備路クリーンセンター」や「真備総合公園」、指定避難所として開設されていた「岡田小学校」、「二万小学校」「菌小学校」が多い。
- 市外に避難した人は、「きびじアリーナ」や「清音ふるさと広場」、「清音小学校」など総社市の施設に避難している。

■ 自宅以外で避難をした場所（施設名）※2名以上が避難した避難先

避難所・公共施設	n
吉備路クリーンセンター	75
真備総合公園	73
岡田小学校	65
藺小学校	56
二万小学校	21
きびじアリーナ	13
第2福田小学校	8
第5福田小学校	7
清音ふるさとふれあい広場	4
箭田小学校	3
真備支所	3
真備ふるさと歴史館	3
連島南中学校	2
清音小学校	2
横溝正史疎開宅	2
総社西小学校	2
清音公民館	2
総社中学校	2
総社市勤労青少年ホーム	2
近くの安全そうな建物・広場	n
シルバーセンター後楽	8
デイリーヤマザキ市場店	6
まび記念病院	5
箭田大塚古墳駐車場	4
熊野神社	4
まきび公園	3
倉敷中央病院	2
古里セレモニー会館	2
金谷集会所	2
株今仙電機製作所	2
まきび病院	2
ファミリーマート真備町箭田店	2
有効回答(計)	497



【その他の避難先】 総社総合文化センター、真備公民館、矢掛町役場、真備船穂商工会、総社西中学校、連島中学校、乙島小学校、福田中学校、倉敷南中学校、中州小学校、金光公民館、総社市役所、総社はばたき園、倉敷東小学校、イオンモール倉敷店、蓮花寺、林鐘寺、薬師寺、宝生院、服部閑屋公会堂、堂応寺公会堂、倉敷市真備斎場、日の丸タクシー、石田公会堂、西園神社、森泉寺、照寂院、荒神社、源福寺、吉備大神宮、吉備真備駅、吉備寺、ライフタウンまび、岡田新町公会堂、岡田中町集会所、グレブホームひまわり、セブンイレブン倉敷八島店、セブンイレブン総社岡谷店、ディオ倉敷西店、道の途中(車内)、サンロード吉備路、高梁川土手、旭ヶ丘団地の道路、倉敷駅前のホテルなど

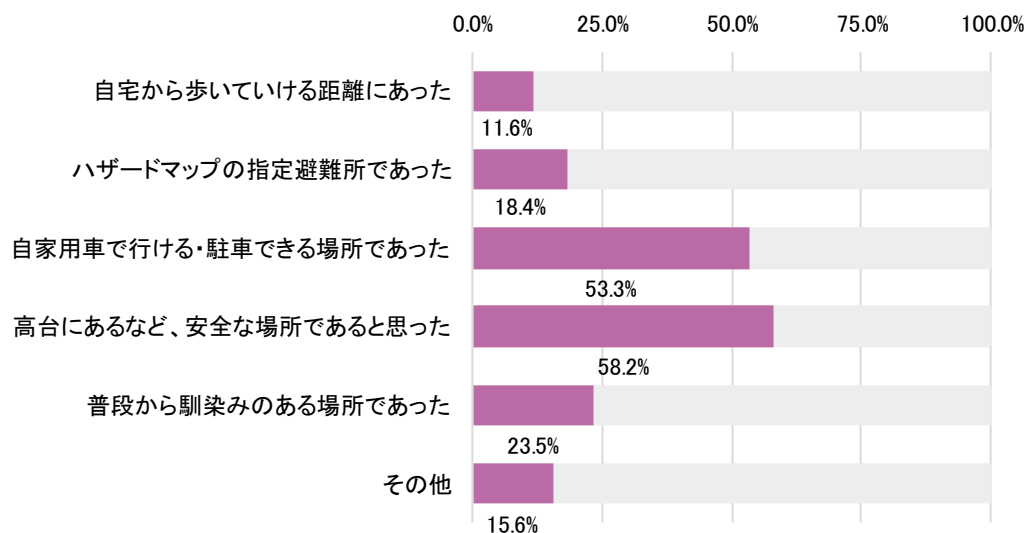
※調査票②：問5（目的地（施設の名称）：移動目的が避難を抽出）より

⑪ 避難場所を選択した理由

- 自宅以外の場所に避難をした人が避難場所を選択した理由としては、約 58.2%が「高台にあるなど、安全な場所であると思った」、約 53.3%が「自家用車で行ける・駐車できる場所であった」と回答している。

■ 避難場所を選択した主な理由

避難場所を選択した理由(複数回答)	n	%
自宅から歩いていける距離にあった	62	11.6%
ハザードマップの指定避難所であった	98	18.4%
自家用車で行ける・駐車できる場所であった	284	53.3%
高台にあるなど、安全な場所であると思った	310	58.2%
普段から馴染みのある場所であった	125	23.5%
その他	83	15.6%
無回答	145	—
計	678	—
有効回答(計)	533	100.0%



N=533 (複数回答：無回答除く)

【その他】

- ・防災無線や広報車の放送で避難場所であると言っていたから。
- ・知人・近所、通りがかりの人に勧められたから。
- ・開設されていた指定避難所がどこも人で一杯であったから。
- ・ペットと一緒に指定避難所には入れないため。
- ・警察に誘導されたため。
- ・トイレがあり、車中泊できる場所であったため。
- ・家族が先に避難している場所であったため。
- ・安心して眠れる場所であったため。
- ・災害前から家族で避難する場所と決めていた場所であったため。

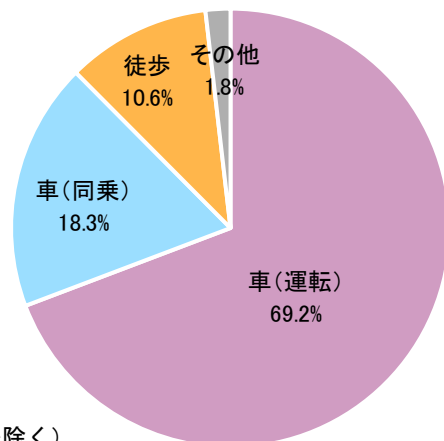
※調査票②：問 8 (避難場所を選択した理由) より

⑫ 避難した場所までの移動手段・移動時間

- 自宅以外の場所に避難をした約 69.2%が避難場所までの移動手段として車（運転）、約 18.3%が車（同乗）と回答している。（約 87.5%が車（運転又は同乗）で避難したと回答している。
- 約 10.6%は「徒歩」で避難したと回答している。

■ 最初に避難した場所までの移動手段

移動手段	n	%
車（運転）	378	69.2%
車（同乗）	100	18.3%
徒歩	58	10.6%
その他	10	1.8%
無回答	132	—
計	678	—
有効回答（計）	546	100.0%



N=546（無回答を除く）

【その他】

・原動機付自転車・バイク、バス、電車、ボート（消防・自衛隊等による救助は除く。）

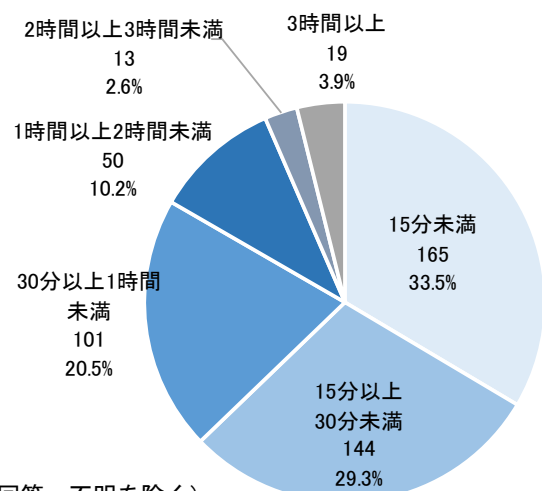
（注：最初の避難先までの移動（1回目の避難トリップ）を対象として集計）

※調査票②：問 5（主な移動手段）より ※移動目的が避難を抽出

- 避難行動を開始した場所から避難先までの移動時間として、約 33.5%が 15 分未満、約 29.3%が 15 分以上 30 分未満と回答している。
- 約 62.8%が移動時間 30 分以内であったと回答している。

■ 最初に避難した場所までの移動時間

移動時間	n	%
15分未満	165	33.5%
15分以上30分未満	144	29.3%
30分以上1時間未満	101	20.5%
1時間以上2時間未満	50	10.2%
2時間以上3時間未満	13	2.6%
3時間以上	19	3.9%
無回答・不明	186	—
計	678	—
有効回答（計）	492	100.0%



N=492（無回答・不明を除く）

（注：最初の避難先までの移動（1回目の避難トリップ）を対象として集計）

※調査票②：問 5（出発時刻・到達時刻）より ※移動目的が避難を抽出

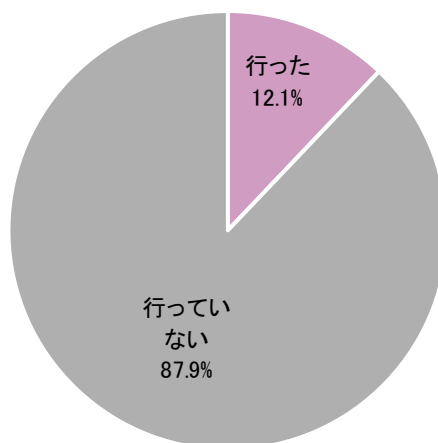
7) 他者との関わり（呼びかけ・援助等）

① 家族や知人の迎え

- 今回の災害で約 12.1%が「避難をする前後に家族や知人等の迎え」を行うために移動したと回答している。
- 迎えに行った相手として約 35.2%が「別居家族や親戚」、約 23.6%が「同居の子ども」と回答している。

■ 家族や知人の迎え（行動の有無）

家族・知人の迎え	n	%
行った	182	12.1%
行っていない	1,322	87.9%
計	1,504	100.0%



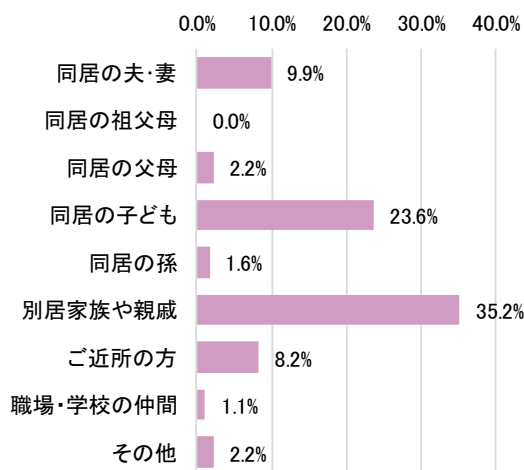
N=1,504

（注：「行っていない」には無回答を含む可能性がある）

※調査票②：問 5（移動目的）より（※「行っていない」には無回答を含む）

■ 家族や知人の迎え（相手）

相手	n	%
同居の夫・妻	18	9.9%
同居の祖父母	0	0.0%
同居の父母	4	2.2%
同居の子ども	43	23.6%
同居の孫	3	1.6%
別居家族や親戚	64	35.2%
ご近所の方	15	8.2%
職場・学校の仲間	2	1.1%
その他	4	2.2%
計	182	100.0%



N=182（複数回答）

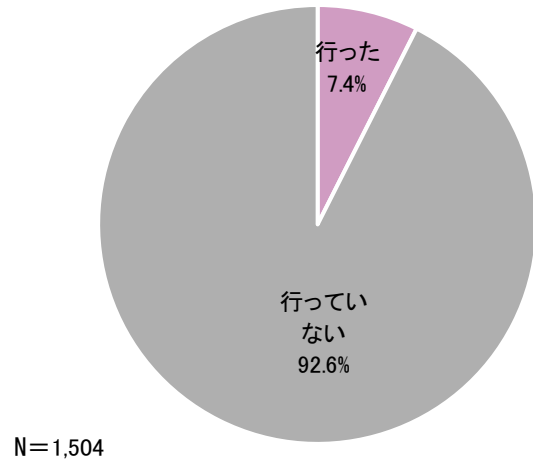
※調査票②：問 5（移動目的・相手）より

② 呼びかけ・援助

- 今回の災害で約 7.4%が「避難をする前後に避難の呼びかけや援助」をするために移動したと回答している。
- 避難の呼びかけや援助を行った相手として約 17.0%が「ご近所の方」、約 12.5%が「別居家族や親戚」と回答している。

■ 避難の呼びかけ・援助（行動の有無）

呼びかけ・援助	n	%
行った	112	7.4%
行っていない	1,392	92.6%
計	1,504	100.0%

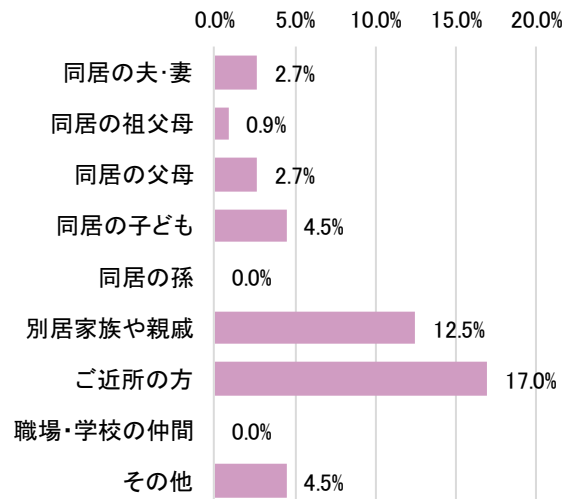


（注：「行っていない」には無回答を含む可能性がある）

※調査票②：問 5（移動目的）より

■ 避難の呼びかけ・援助（相手）

相手	n	%
同居の夫・妻	3	2.7%
同居の祖父母	1	0.9%
同居の父母	3	2.7%
同居の子ども	5	4.5%
同居の孫	0	0.0%
別居家族や親戚	14	12.5%
ご近所の方	19	17.0%
職場・学校の仲間	0	0.0%
その他	5	4.5%
計	112	100.0%



N=112（複数回答）

【その他】

・山沿いの地域の人、自治会の人、ボランティアの人、消防隊員、警察

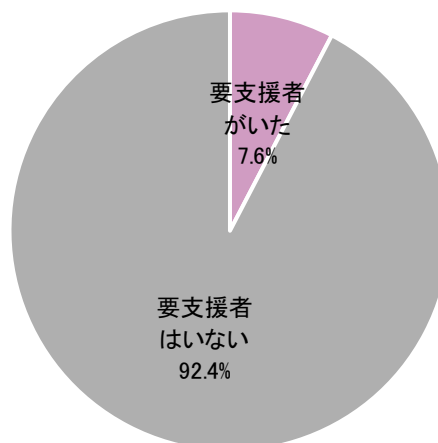
※調査票②：問 5（移動目的・相手）より

③ 行動（移動）を共にした要支援者の有無

- 7月6日の10時時点にいた場所では、約7.6%が要支援者と一緒にいたと回答している。
- 今回の災害で約12.6%が7月6日から7月7日の期間中、いずれかの場所で要支援者と一緒にいたと回答している。

■ 7月6日の10時頃にいた場所での要支援者の有無

一緒にいた人	n	%
要支援者がいた	115	7.6%
要支援者はいない	1,389	92.4%
計	1,504	100.0%



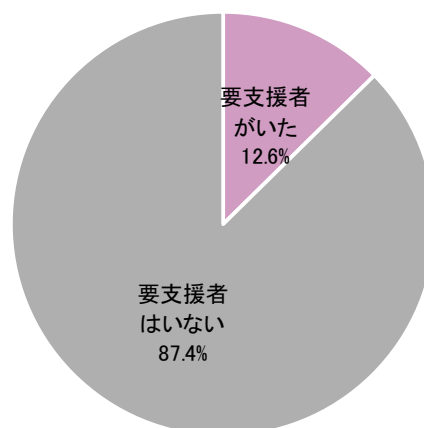
N=1,504

(注:「要支援者はいない」には無回答を含む可能性がある)

※調査票②: 問5 (一緒にいた人) より

■ 7月6日から7月7日にかけての滞在先での要支援者の有無

一緒にいた人	n	%
要支援者がいた	190	12.6%
要支援者はいない	1,314	87.4%
計	1,504	100.0%



N=1,504

(注:「要支援者はいない」には無回答を含む可能性がある)

(注: 7月6日から7月7日にかけての滞在先には、7月6日の10時頃にいた場所を含む。)

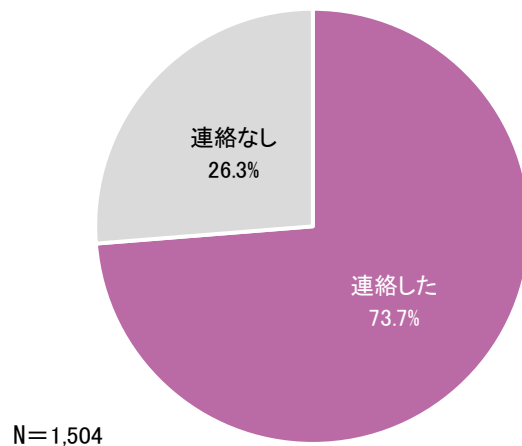
※調査票②: 問5 (一緒にいた人) より (※「要支援者はいない」には無回答を含む)

④ 他者との連絡

○ 今回の災害で約 73.7%が「他者と連絡を取り合った」と回答している。

■ 他者との連絡の取り合いの有無

連絡の有無	n	%
連絡した	1,109	73.7%
連絡なし	395	26.3%
有効回答(計)	1,504	100.0%



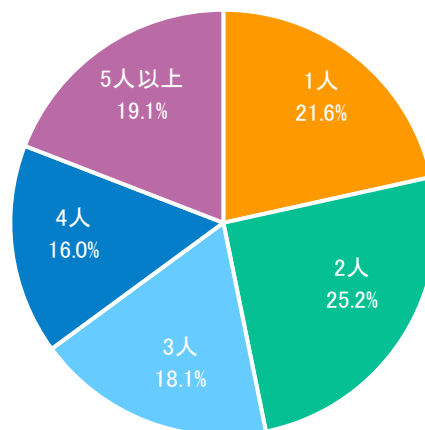
(注:「連絡なし」には無回答を含む可能性がある)

※調査票②: 問 6・問 7 より

○ 連絡を取り合った人数として、約 78.4%が「2人以上」、約 19.1%が「5人以上」と回答をしている。

■ 連絡を取り合った人数

連絡の有無	n	%	%
1人	239	21.6%	21.6%
2人	280	25.2%	78.4%
3人	201	18.1%	
4人	177	16.0%	
5人以上	212	19.1%	
有効回答(計)	1,109	100.0%	

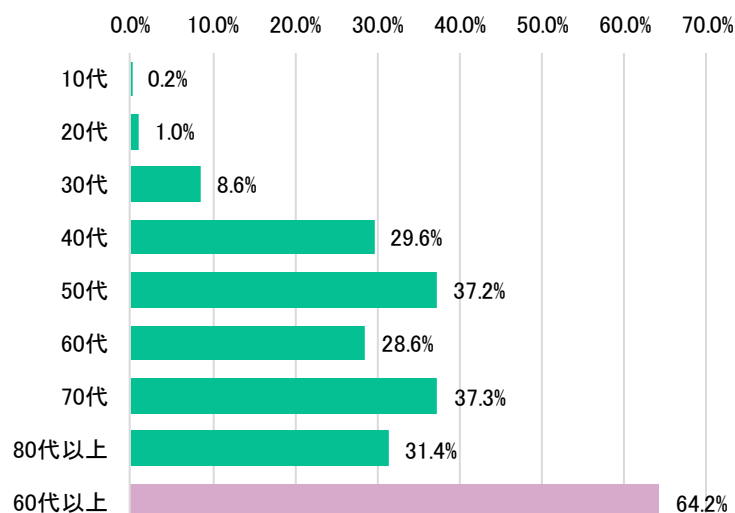


※調査票②: 問 6・問 7 より

- 他者と連絡をとりあった人のうち、約 31.4%が「80代以上の方と連絡をとりあった」と回答している。
- 高齢者への連絡という視点でみると、約 64.2%が「60代以上の方と連絡をとりあった」と回答している。

■ 他者との連絡の取り合いの有無（年齢別・4人目まで回答※）

相手の年齢	n	%
10代	2	0.2%
20代	10	1.0%
30代	82	8.6%
40代	283	29.6%
50代	356	37.2%
60代	273	28.6%
70代	357	37.3%
80代以上	300	31.4%
60代以上	614	64.2%
無回答	153	—
計	1,109	—
有効回答(計)	956	100.0%



N=956（無回答除く）

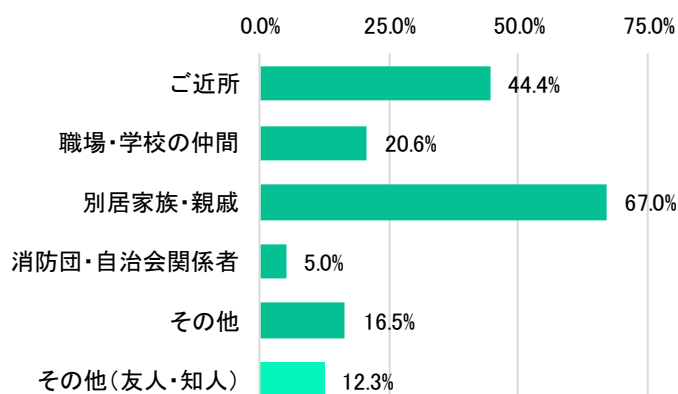
注：4人目まで回答：連絡をとりあった4人目までに該当するものを選択（以下同様）

※調査票②：問6（相手の方の年齢）より

- 他者と連絡をとりあった人のうち、約 67.0%が「別居家族・親戚」と、約 44.4%が「ご近所」と連絡をとりあったと回答している。

■ 他者との連絡の取り合いの有無（関係別・4人目まで回答・複数選択可）

相手の関係	n	%
ご近所	469	44.4%
職場・学校の仲間	218	20.6%
別居家族・親戚	707	67.0%
消防団・自治会関係者	53	5.0%
その他	174	16.5%
その他(友人・知人)	130	12.3%
無回答	53	—
計	1,109	—
有効回答(計)	1,056	100.0%



N=1,056（複数回答・無回答を除く）

【その他】

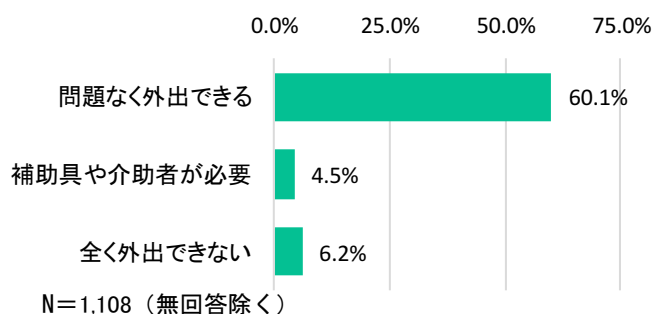
・友人・知人、消防・警察・自衛隊、市役所職員、家族(子・親)の友人・知り合い 等

※調査票②：問6（あなたとの関係、相手の立場）より

- 他者と連絡をとりあった人のうち、約 6.2%が「全く外出できない方」と連絡をとりあったと回答している。
- また、約 4.5%が「外出には補助具や介助者が必要な方」と連絡をとりあったと回答している。

■ 他者との連絡の取り合いの有無（相手の外出の困難さ別・4人目まで回答）

相手の状況	n	%
問題なく外出できる	666	60.1%
補助具や介助者が必要	50	4.5%
全く外出できない	69	6.2%
無回答	1	—
計	1,109	—
有効回答(計)	1,108	100.0%

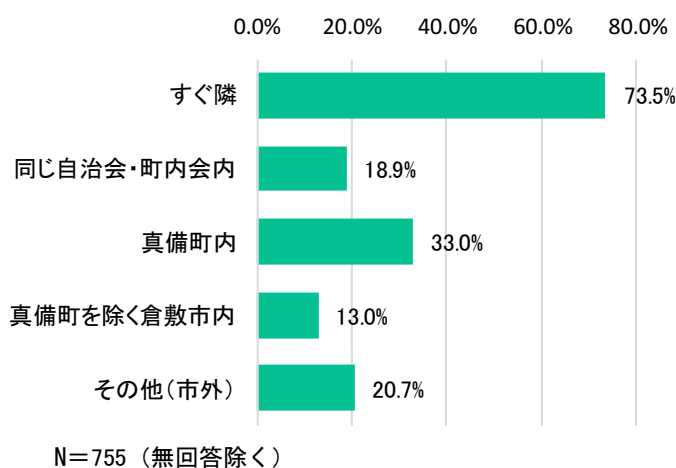


※調査票②：問 6（相手の方の外出の困難さ）より

- 他者と連絡をとりあった人のうち、約 73.5%が「すぐ隣の方と連絡をとりあった」と回答している。

■ 他者との連絡の取り合いの有無（相手の居住地別・4人目まで回答）

相手の居住場所	n	%
すぐ隣	555	73.5%
同じ自治会・町内会内	143	18.9%
真備町内	249	33.0%
真備町を除く倉敷市内	98	13.0%
その他(市外)	156	20.7%
無回答	354	—
計	1,109	—
有効回答(計)	755	100.0%

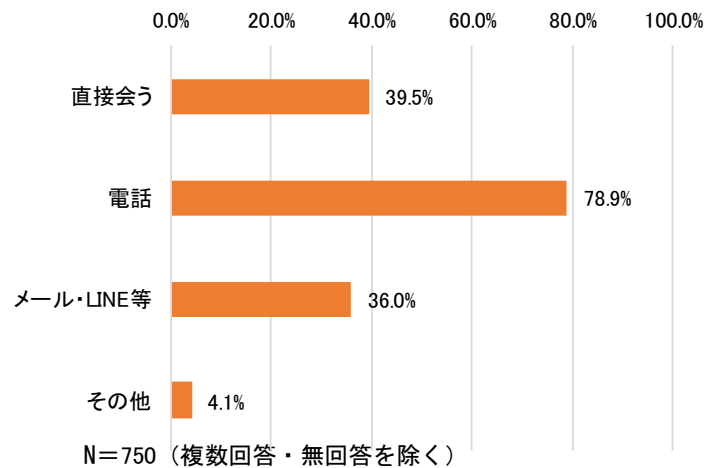


※調査票②：問 6（相手の方の居住場所）より

○ 他者と連絡をとりあった人のうち、約 78.9%が連絡方法として「電話」を利用したと回答している。

■ 他者との連絡の取り合い方法（手段・4人目まで回答・1人3回までの連絡を対象）

連絡方法	n	%
直接会う	296	39.5%
電話	592	78.9%
メール・LINE等	270	36.0%
その他	31	4.1%
無回答	359	—
計	1,109	—
有効回答(計)	750	100.0%

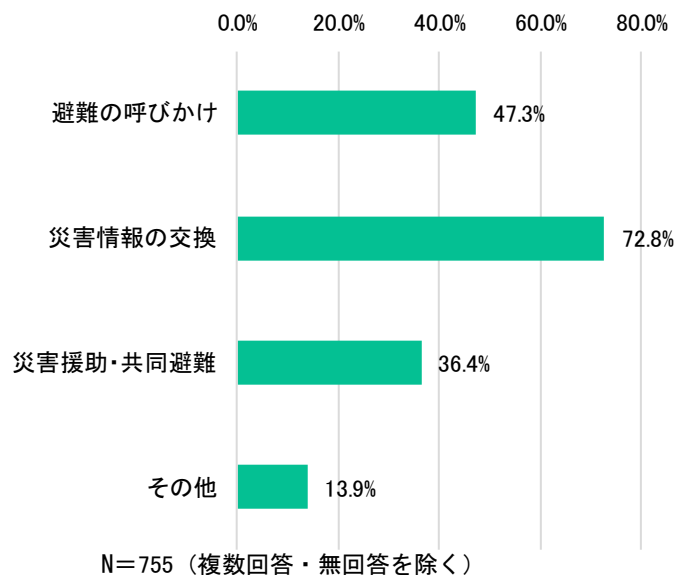


※調査票②：問 6（連絡時刻・方法・目的）より

○ 他者と連絡をとりあった人のうち、連絡をとりあった目的として約 72.8%が「災害情報の交換」のため、約 47.3%が「避難の呼びかけ」のためと回答している。

■ 他者との連絡の取り合いの目的（4人目まで回答・1人3回までの連絡を対象）

連絡目的	n	%
避難の呼びかけ	355	47.3%
災害情報の交換	546	72.8%
災害援助・共同避難	273	36.4%
その他	104	13.9%
無回答	354	—
計	1,109	—
有効回答(計)	755	100.0%



【その他】

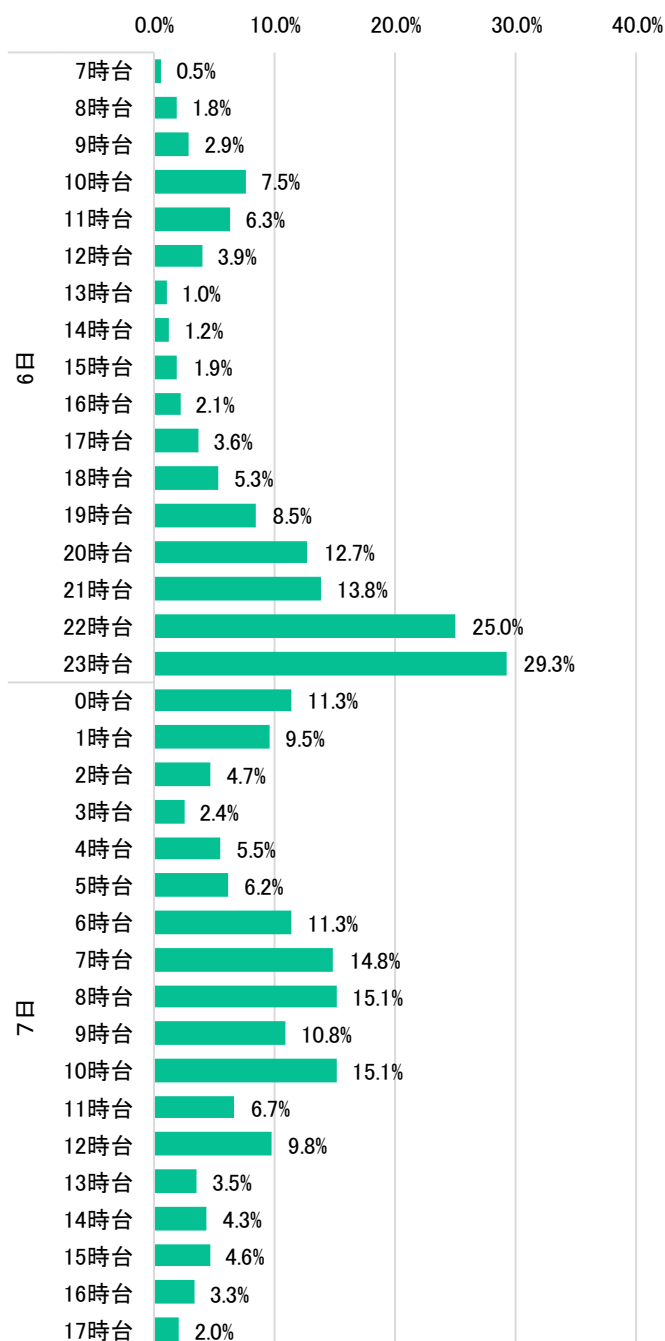
・安否の確認・無事の報告、救助の要請 等

※調査票②：問 6（連絡時刻・方法・目的）より

○ 他者と連絡をとりあった人のうち、連絡をとりあった時間帯として約 29.3%が「6 日の 23 時台」に連絡したと回答している。

■ 他者と連絡を取り合った時間帯（4 人目までの連絡・1 人 3 回までの連絡を対象）

		n	%
6 日	7時台	5	0.5%
	8時台	17	1.8%
	9時台	27	2.9%
	10時台	71	7.5%
	11時台	59	6.3%
	12時台	37	3.9%
	13時台	9	1.0%
	14時台	11	1.2%
	15時台	18	1.9%
	16時台	20	2.1%
	17時台	34	3.6%
	18時台	50	5.3%
	19時台	80	8.5%
	20時台	120	12.7%
	21時台	130	13.8%
	22時台	236	25.0%
	23時台	276	29.3%
7 日	0時台	107	11.3%
	1時台	90	9.5%
	2時台	44	4.7%
	3時台	23	2.4%
	4時台	52	5.5%
	5時台	58	6.2%
	6時台	107	11.3%
	7時台	140	14.8%
	8時台	142	15.1%
	9時台	102	10.8%
	10時台	142	15.1%
	11時台	63	6.7%
	12時台	92	9.8%
	13時台	33	3.5%
	14時台	41	4.3%
	15時台	43	4.6%
	16時台	31	3.3%
	17時台	19	2.0%
無回答		166	—
計		1,109	—
有効回答(計)		943	100.0%



N=943（複数回答・無回答を除く）

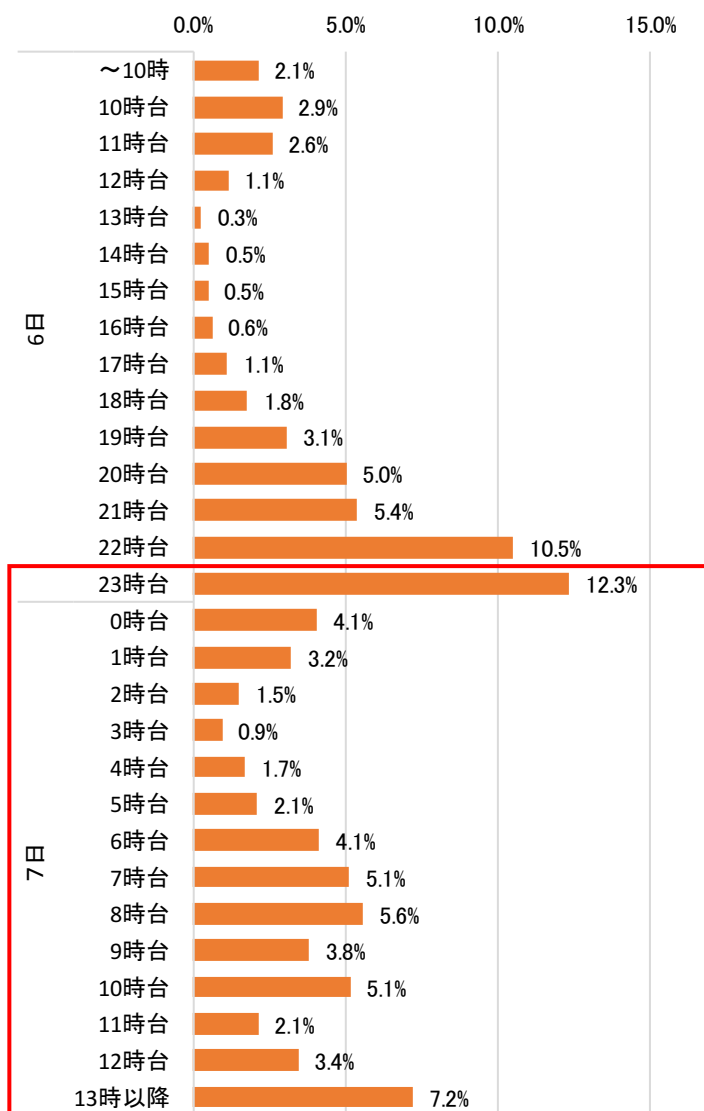
6 日（金） 11 時 30 分 避難準備・高齢者等避難開始
 19 時 30 分 避難勧告（山沿いの地域）
 22 時 00 分 避難勧告（高梁川・小田川水位上昇）
 23 時 45 分 避難指示（緊急） 小田川南側
 7 日（土） 01 時 30 分 避難指示（緊急） 小田川北側

※調査票②：問 6（連絡時刻・方法・目的）より

○ 7月6日から7月7日にかけてされた全連絡（全回答者の全ての連絡）の約62.5%が「避難指示（緊急）小田川南側」が発令された6日の23時台以降にされている。

■ 他者と連絡がされた時間帯（全連絡）

		連絡時刻		
		n	%	%
6日	～10時	80	2.1%	37.5%
	10時台	109	2.9%	
	11時台	97	2.6%	
	12時台	43	1.1%	
	13時台	10	0.3%	
	14時台	20	0.5%	
	15時台	18	0.5%	
	16時台	23	0.6%	
	17時台	42	1.1%	
	18時台	67	1.8%	
	19時台	115	3.1%	
	20時台	188	5.0%	
	21時台	202	5.4%	
	22時台	393	10.5%	
	23時台	462	12.3%	
7日	0時台	152	4.1%	62.5%
	1時台	121	3.2%	
	2時台	57	1.5%	
	3時台	35	0.9%	
	4時台	64	1.7%	
	5時台	79	2.1%	
	6時台	155	4.1%	
	7時台	192	5.1%	
	8時台	209	5.6%	
	9時台	143	3.8%	
	10時台	193	5.1%	
	11時台	80	2.1%	
	12時台	129	3.4%	
	13時以降	270	7.2%	
時刻不明		143	—	
計		3,891	—	
有効回答(計)		3,748	100.0%	



N=3,748（回答者の全連絡の計）

6日（金）	11時30分	避難準備・高齢者等避難開始
	19時30分	避難勧告（山沿いの地域）
	22時00分	避難勧告（高梁川・小田川水位上昇）
	23時45分	避難指示（緊急）小田川南側
7日（土）	01時30分	避難指示（緊急）小田川北側

※調査票②：問6（連絡時刻・方法・目的）より

8) 避難先の候補

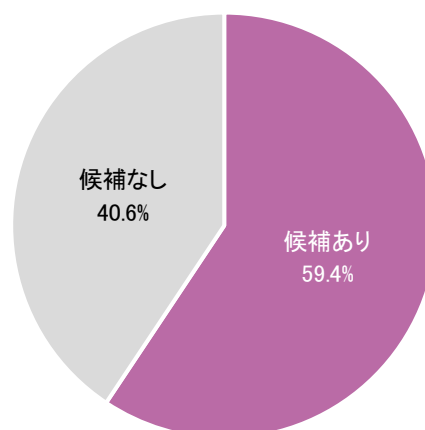
避難先の候補となった場所についておたずねします。

① 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先の有無

- 今回の災害で約 59.4%が「実際に避難した場所（自宅を含む※）以外に避難先の候補として検討した場所があった」と回答している。

■ 実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補の有無

候補の有無	n	%
候補あり	587	59.4%
候補なし	402	40.6%
無回答	515	—
計	1,504	—
有効回答(計)	989	100.0%



N=989（無回答を除く）

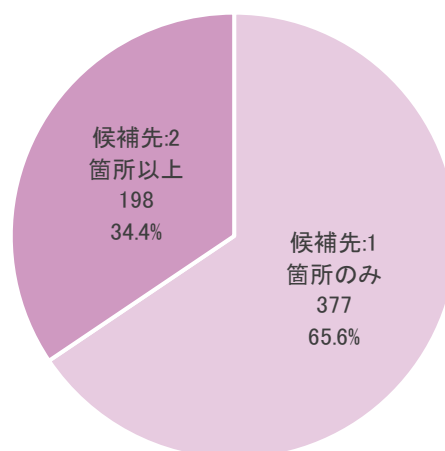
（注：実際には自宅以外に避難をしなかった回答者を含む。また、避難先の候補を自宅と回答しているものや実際に避難した場所としている回答については、避難先の候補ありとしてのカウントはしていない。（以下、同様。））

※調査票②：問 9（避難先の候補①・②）より

- 上記のうち、約 34.4%が 2 箇所以上の候補先があったと回答している。

■ 実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補（候補地数）

候補地数	n	%
候補先:1箇所のみ	377	65.6%
候補先:2箇所以上	198	34.4%
不明	12	—
計	587	—
有効回答(計)	575	100.0%



N=575（無回答を除く）

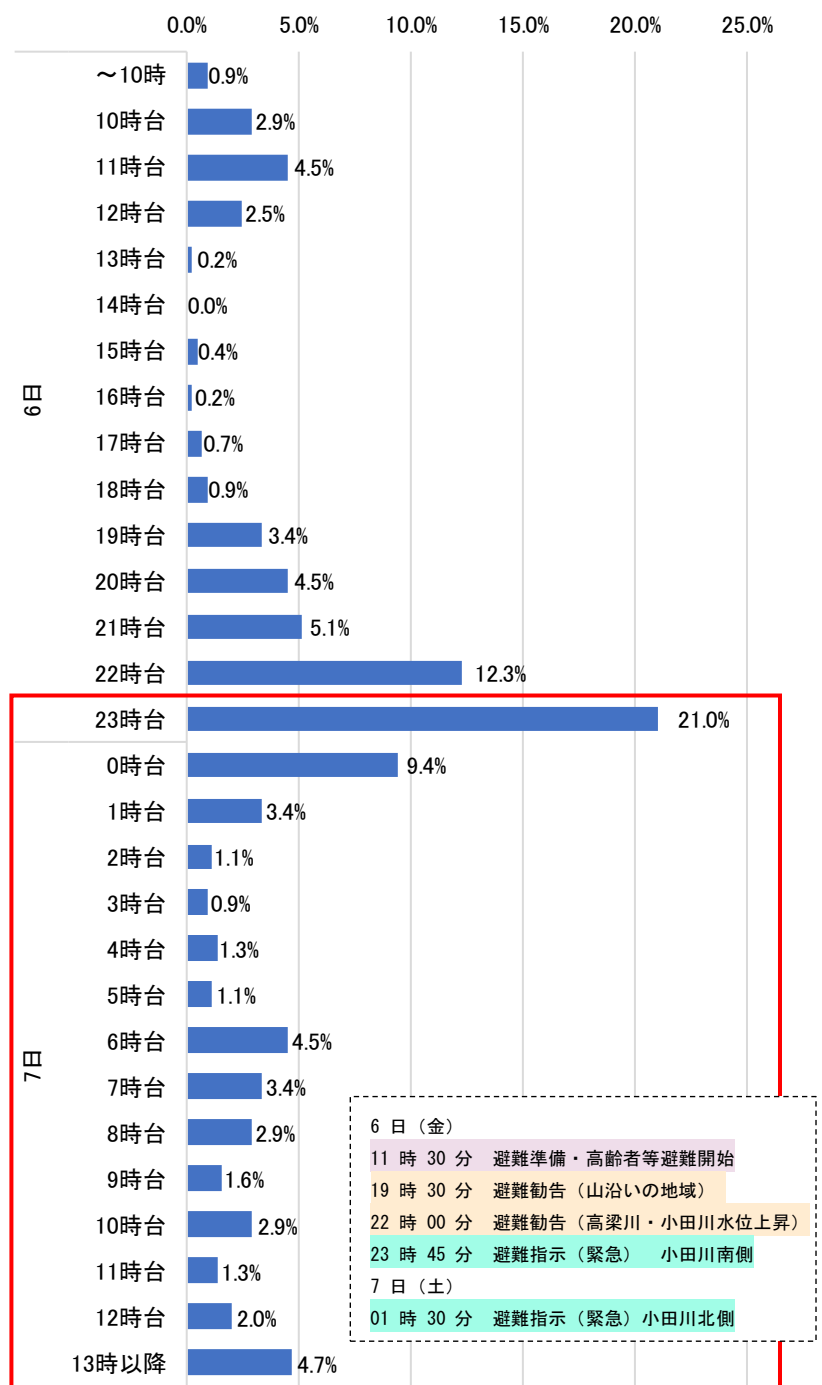
※調査票②：問 9（避難先の候補①・②）より

② 今回の災害で避難先の候補を検討した日時・その時、利用可能であった交通手段

○ 避難先の候補を検討した時刻としては、約 61.5%が「避難指示（緊急）小田川南側」が発令された 6 日の 23 時台以降に検討したと回答している。

■ 避難先の候補として検討した日時

		検討時刻	
		n	%
6 日	～10時	4	0.9%
	10時台	13	2.9%
	11時台	20	4.5%
	12時台	11	2.5%
	13時台	1	0.2%
	14時台	0	0.0%
	15時台	2	0.4%
	16時台	1	0.2%
	17時台	3	0.7%
	18時台	4	0.9%
	19時台	15	3.4%
	20時台	20	4.5%
	21時台	23	5.1%
	22時台	55	12.3%
	23時台	94	21.0%
7 日	0時台	42	9.4%
	1時台	15	3.4%
	2時台	5	1.1%
	3時台	4	0.9%
	4時台	6	1.3%
	5時台	5	1.1%
	6時台	20	4.5%
	7時台	15	3.4%
	8時台	13	2.9%
	9時台	7	1.6%
	10時台	13	2.9%
	11時台	6	1.3%
	12時台	9	2.0%
	13時以降	21	4.7%
時刻不明		140	—
計		587	—
有効回答(計)		447	100.0%



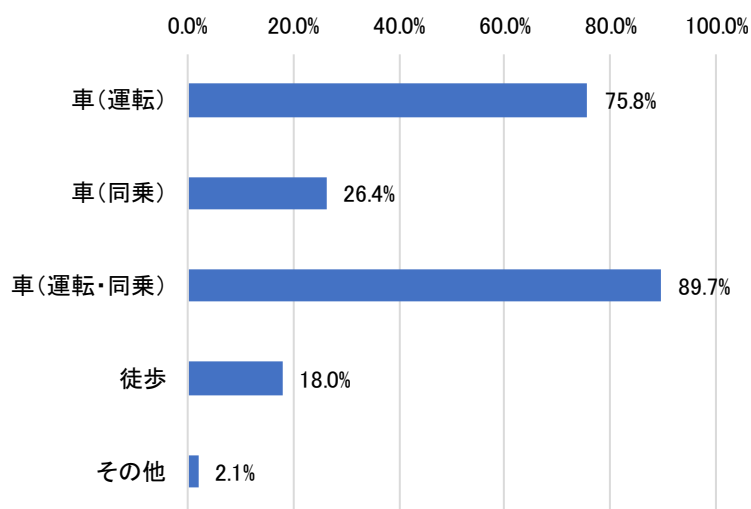
N=447 (無回答・時刻不明を除く)

※調査票②：問 9 (避難先の候補として検討した日時) より

- 避難先の候補を検討した時に利用可能だった交通手段として、約 75.8%が「車（運転）」と回答している。
- 一方で、約 10.3%※1「車（運転又は同乗）が利用可能な交通手段でなかった」と回答している。
- 約 82.0%※2が「徒歩が利用可能な交通手段でなかった」（徒歩による避難は考えられなかった）と回答している。

■ 避難先の候補を検討した時に利用可能だった交通手段（複数回答）

移動手段	n	%
車（運転）	353	75.8%
車（同乗）	123	26.4%
車（運転・同乗）	418	89.7%
徒歩	84	18.0%
その他	10	2.1%
無回答	121	—
計	587	—
有効回答（計）	466	100.0%



N=466（無回答・時刻不明を除く）

【その他】

・自転車(2)、ボート・船(4)、水上バイク(1)

※1：10.3%=100%－89.7% ※2 約 82.0%=100%－18.0%

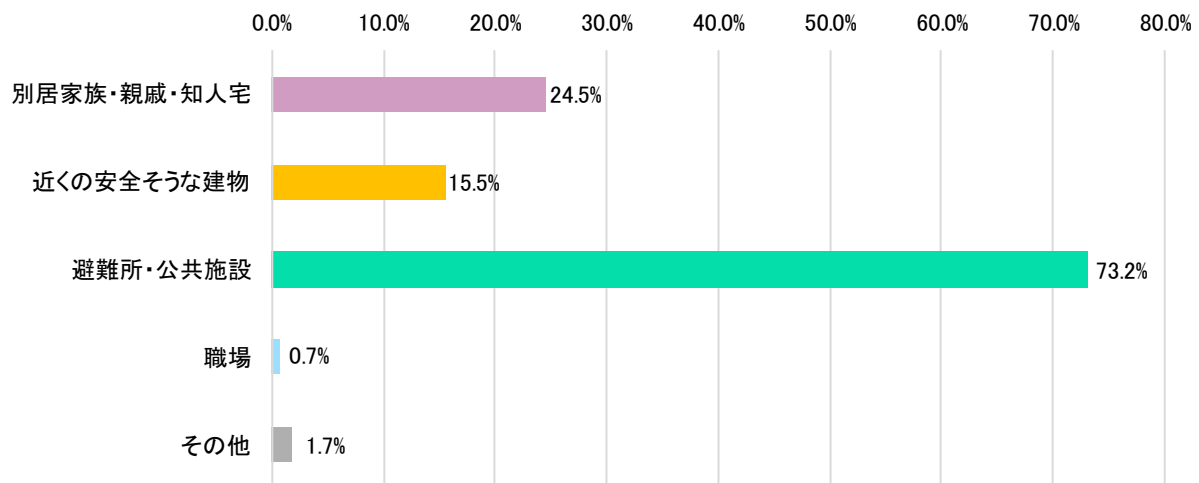
※調査票②：問 9（避難先の候補として検討した日時）より

③ 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補地

○ 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補地の種類として、約73.2%が「避難所・公共施設」と回答している。

■ 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補地（種類）

避難先候補	n	%
別居家族・親戚・知人宅	141	24.5%
近くの安全そうな建物	89	15.5%
避難所・公共施設	421	73.2%
職場	4	0.7%
その他	10	1.7%
無回答	12	—
計	587	—
有効回答(計)	575	



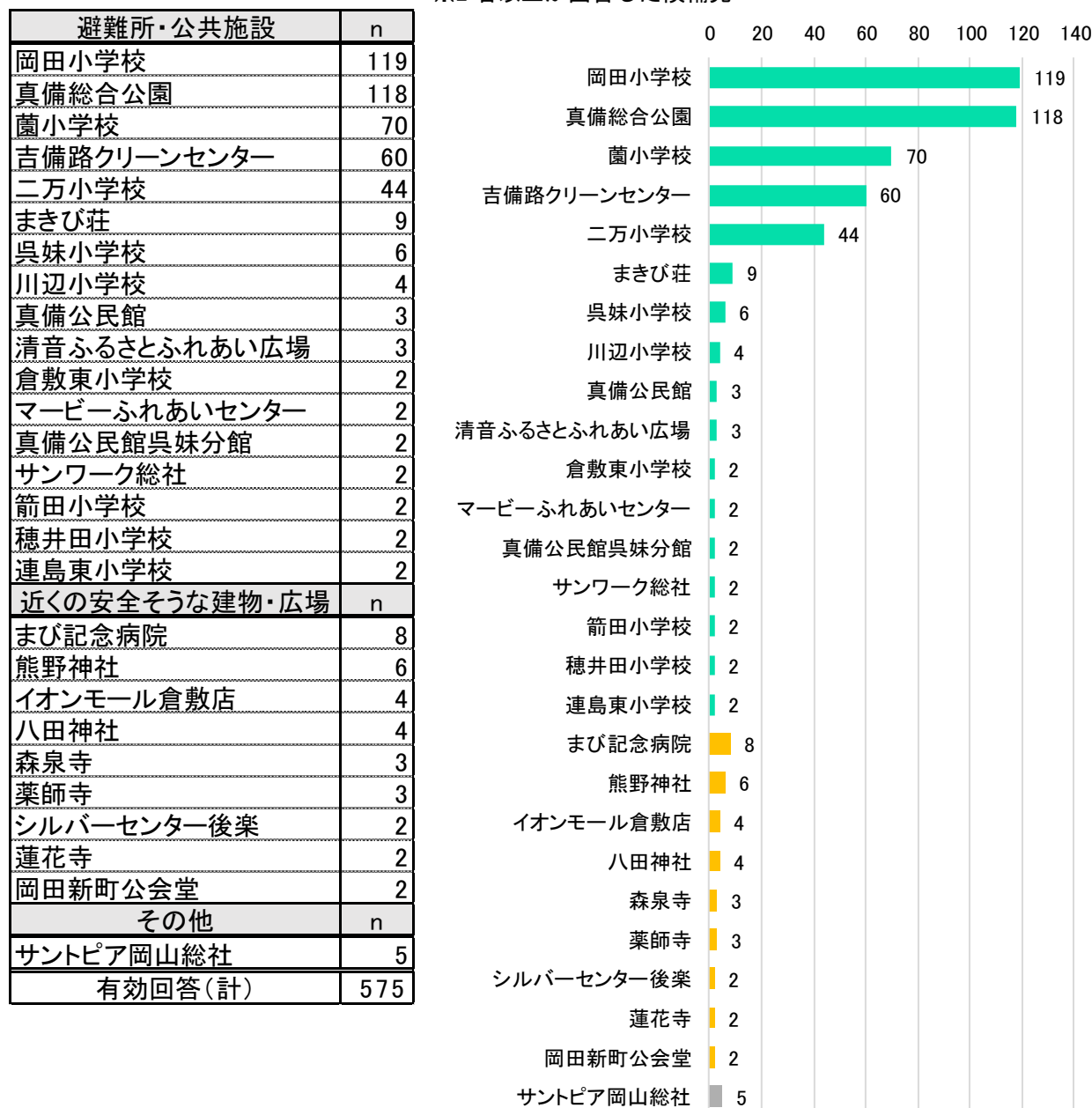
N=575（複数回答・無回答を除く）

※調査票②：問9（避難先の候補①・②：施設の種類）より

○ 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補地（具体的な場所）としては、「岡田小学校」、「真備総合公園」との回答が多い。

■ 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補地（施設名）

※2 名以上が回答した候補先



N=575（複数回答・施設名不明等は除く）

【その他の候補先】（具体的な施設名等が把握できたもの）

真備支所、真備公民館藺分館、真備公民館岡田分館、真備ふるさと歴史館、柳井原小学校、船穂小学校、菅生小学校、上成小学校、乙島小学校、第5福田小学校、連島南小学校、総社西小学校、連島中学校、きびじアリーナ、吉備大臣宮、荒神社、まきび公園、まきび病院、岡田廃寺（金剛寺跡）、金山、雇用促進住宅（ビレッジハウス真備）5階、古里セレモニー会館、真備市場工業団地、真備公園墓地、西藺神社、石田公会堂、川辺宿駅、箭田大塚古墳駐車場、東藺神社社務所、日の丸タクシー、八幡神社、宝生院、上二万神社、上有井公民館（集会所）、狩砂集会所、グループホームひまわり、オールスター25総社店、専門店街リブ21、デイサービスセンターやまびこ、デイリーヤマザキ市場店、ユーミーマンションアブランドⅡ、高梁川の土手上（川辺橋）、中本工務店の後の高台、宝生院、くらしき作陽大学、サンロード吉備路、ホテルグランヴィア岡山、吉備カントリー倶楽部、萩原株式会社（順不同）

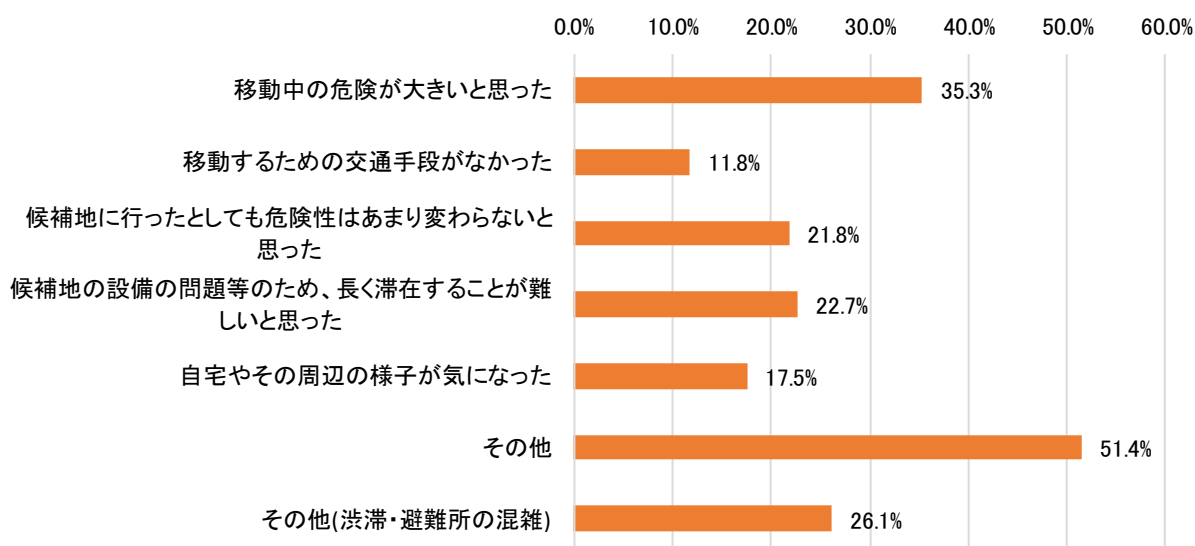
※調査票②：問9（避難先の候補①・②：施設の名称）より

④ 今回の災害で実際に避難した避難先以外に検討した避難先候補地に行かなかった理由

- 実際に避難した避難先以外の候補地に行かなかった理由として、約 35.3%が「移動中の危険が大きいと思った」、約 26.1%が「交通渋滞や避難所の混雑（その他の自由記述より判断）」と回答している。

■ 避難先以外に検討した候補地に行かなかった理由

理由	n	%
移動中の危険が大きいと思った	123	35.3%
移動するための交通手段がなかった	41	11.8%
候補地に行ったとしても危険性はあまり変わらないと思った	76	21.8%
候補地の設備の問題等のため、長く滞在することが難しいと思った	79	22.7%
自宅やその周辺の様子が気になった	61	17.5%
その他	179	51.4%
その他(渋滞・避難所の混雑)	91	26.1%
無回答	239	—
計	587	—
有効回答(計)	348	77.6%



N=348（複数回答・無回答は除く）

【その他】（渋滞・避難所の混雑以外の理由）

- ・夜だったこともあり子供を連れてだったので近い場所を選んだため。
- ・水位の上昇が家の前でとまったから、水が上がってこなかったから。
- ・避難所になっていなかったから。
- ・避難所として開設されていなかった、門が空いていなかったため。
- ・通行止めになっていたため。
- ・ペットをつれていけなかったから。
- ・実際に避難した場所のほうが自宅から近かったため。
- ・水位があがり自宅から既に一步も出られない状況だったため。

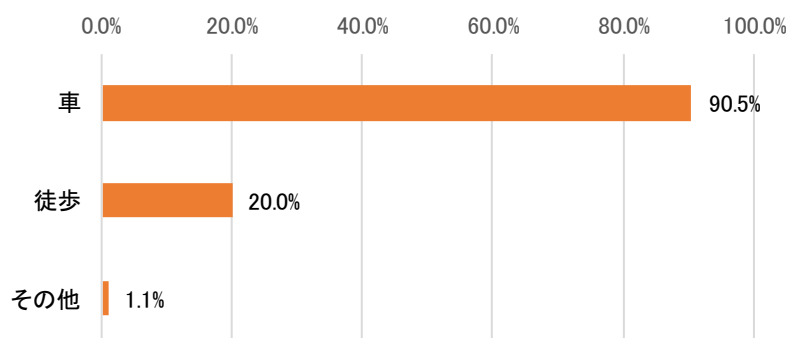
※調査票②：問 9（避難先の候補に行かなかった理由）より

- 「移動中の危険が大きいと思った」と回答した人の約 90.5%が、避難先候補地への移動のために必要だった交通手段として「車」と回答している。
- 「移動のための交通手段がなかった」と回答した人の約 59.4%が、避難先候補地への移動のために必要だった交通手段として「車」と回答している。

■ 避難先以外に検討した候補地に行くために必要だった交通手段

理由: 移動中の危険が大きいと思った

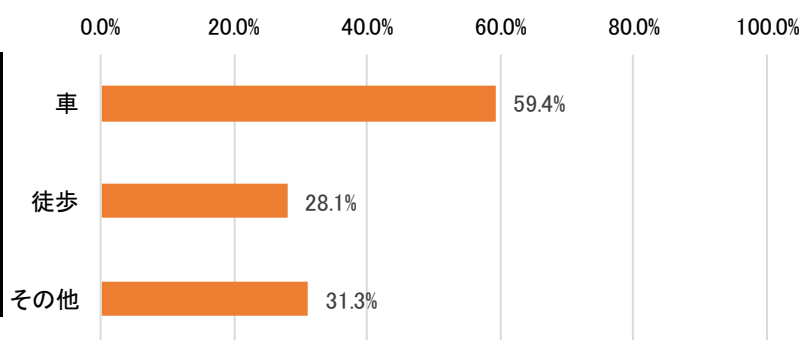
交通手段	n	%
車	86	90.5%
徒歩	19	20.0%
その他	1	1.1%
無回答	28	—
計	123	—
有効回答(計)	95	100.0%



N=95（複数回答・無回答は除く）

理由: 移動するための交通手段がなかった

交通手段	n	%
車	19	59.4%
徒歩	9	28.1%
その他	10	31.3%
無回答	9	—
計	41	—
有効回答(計)	32	100.0%



N=32（複数回答・無回答は除く）

【その他】

・船・ボート など

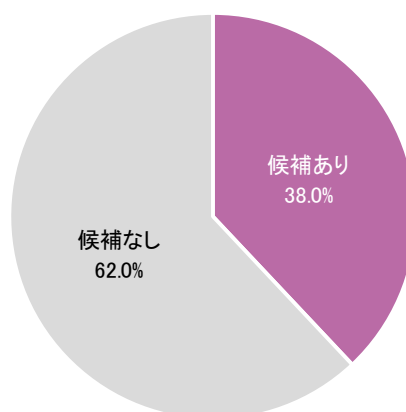
※調査票②：問 9（避難先の候補に行かなかった理由・移動に必要な交通手段）より

⑤ 今回の災害以前から避難先として考えていた場所の有無

○ 約 38.0%が今回の災害以前から「避難先として考えていた場所（候補）がある」と回答している。

■ 災害以前から避難先として考えていた避難先候補の有無

候補の有無	n	%
候補あり	397	38.0%
候補なし	648	62.0%
無回答	459	—
計	1,504	—
有効回答(計)	1,045	100.0%



N=1,045（無回答を除く）

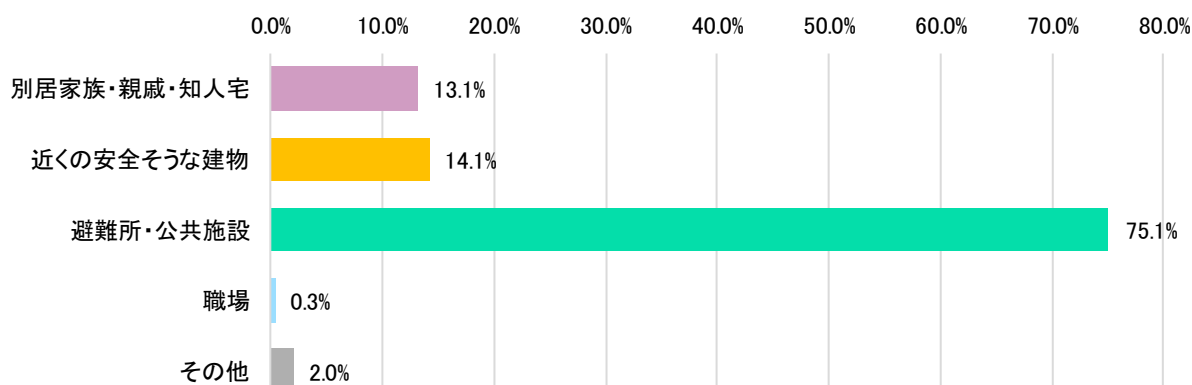
※調査票②：問 10 より

⑥ 災害以前から避難先として考えていた場所

○ 今回の災害以前から避難先として考えていた場所の種類として、約 75.1%が「避難所・公共施設」と回答している。

■ 災害以前から避難先として考えていた避難先候補地（種類）

避難先候補	n	%
別居家族・親戚・知人宅	39	13.1%
近くの安全そうな建物	42	14.1%
避難所・公共施設	223	75.1%
職場	1	0.3%
その他	6	2.0%
無回答	100	—
計	397	—
有効回答(計)	297	100.0%



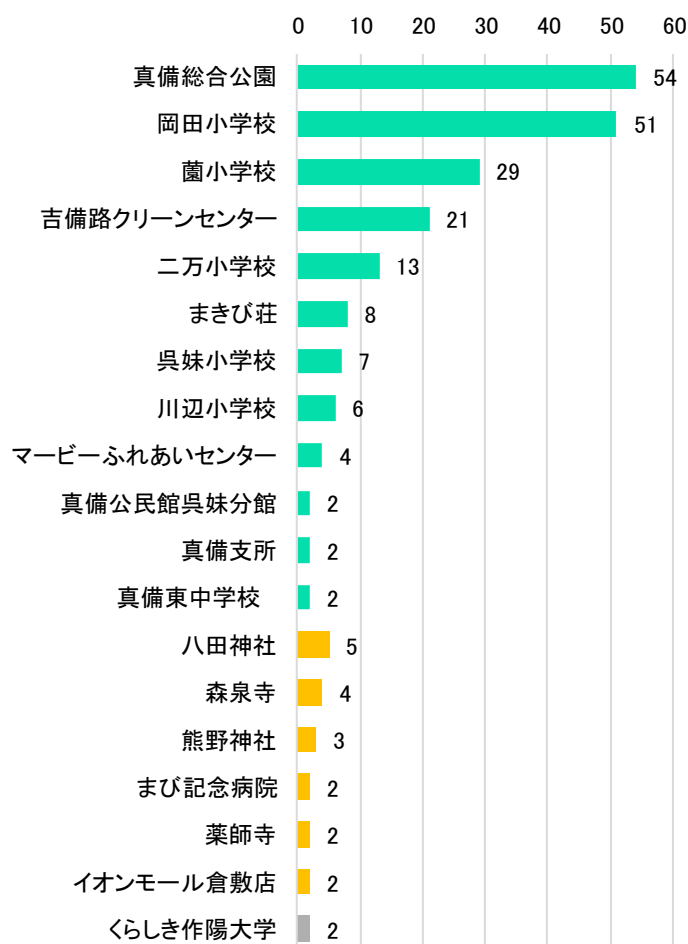
N=297（複数回答・無回答を除く）

※調査票②：問 10、問 5（一番始めに避難した場所）、問 9（避難先の候補①、②）より

- 今回の災害以前から避難先と考えていた具体的な場所として、「真備総合公園」、「岡田小学校」との回答が多い。
- 実際に避難した場所として回答の最も多い「吉備路クリーンセンター」は、4番目に多い場所であった。

■ 災害以前から避難先として考えていた避難先候補地（施設名）※2名以上が回答した候補先

避難所・公共施設	n
真備総合公園	54
岡田小学校	51
藺小学校	29
吉備路クリーンセンター	21
二万小学校	13
まきび荘	8
呉妹小学校	7
川辺小学校	6
マービーふれあいセンター	4
真備公民館呉妹分館	2
真備支所	2
真備東中学校	2
近くの安全そうな建物・広場	n
八田神社	5
森泉寺	4
熊野神社	3
まび記念病院	2
薬師寺	2
イオンモール倉敷店	2
その他	n
くらしき作陽大学	2
有効回答(計)	297



N=297（複数回答・施設名不明等は除く）

【その他の候補先】（具体的な施設名等が把握できたもの）

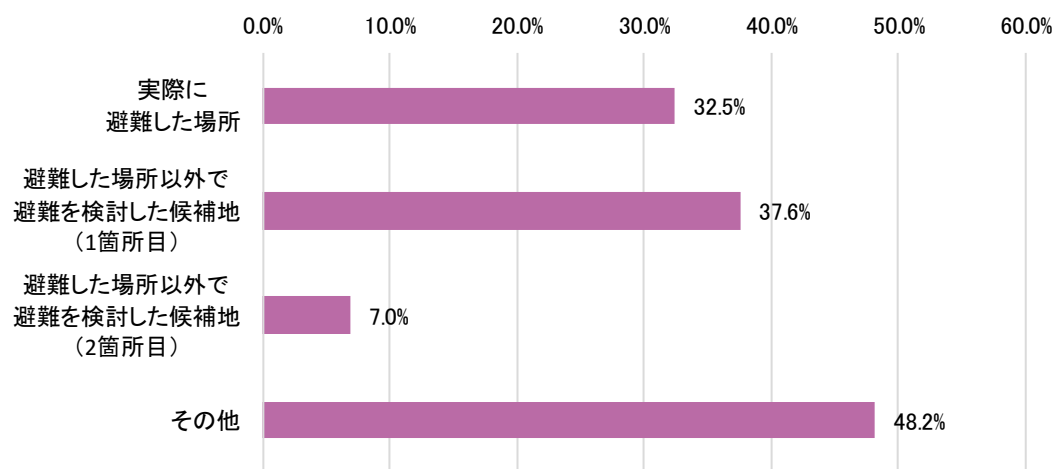
真備公民館、真備公民館藺分館、真備公民館二万分館、真備公民館岡田分館、真備公民館辻田分館、真備公民館箭田分館、真備ふるさと歴史館、真備中学校、連島中学校、穂井田小学校、サントピア岡山総社、サンワーク総社、清音ふるさとふれあい広場、デイサービスセンターやまねこ、岡田廃寺（金剛寺跡）、伊與部山、蓮花寺、岡田コミュニティー広場、まきび公園、東藺神社社務所、上有井公民館（集会所）、八幡神社吉備路カントリークラブ、くらしき作陽大学

※調査票②：問 10、問 5（一番始めに避難した場所）、問 9（避難先の候補①、②）より

- 今回の災害以前から避難先として考えていた場所として、約 32.5%が「実際に避難した場所」と回答している。

■ 災害以前から避難先として考えていた避難先候補地

避難先候補	n	%
実際に避難した場所	126	32.5%
災害当日に避難を検討した候補地(1箇所目)	146	37.6%
災害当日に避難を検討した候補地(2箇所目)	27	7.0%
その他	187	48.2%
無回答	9	—
計	397	—
有効回答	388	100.0%



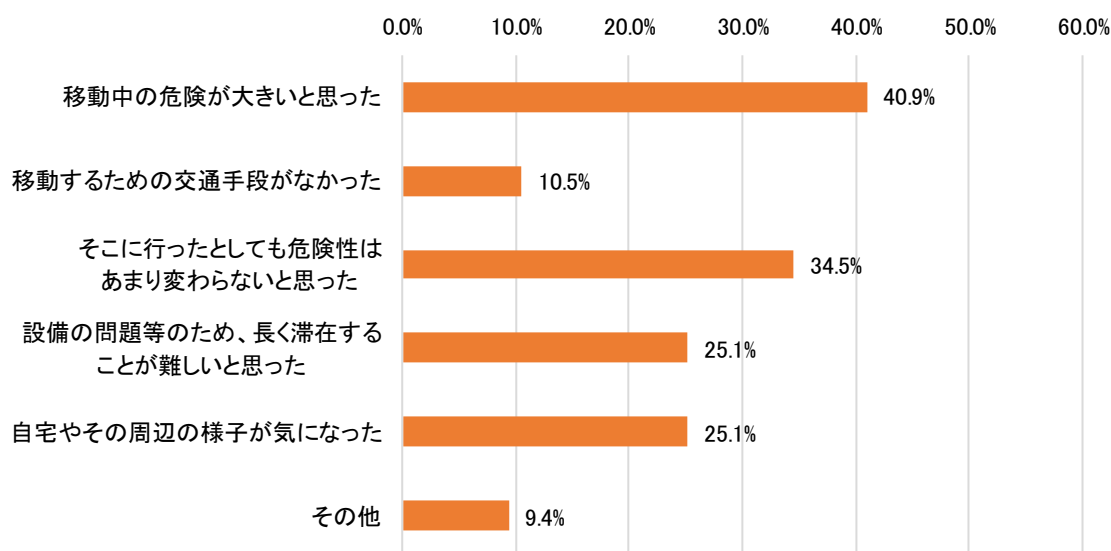
N=388（複数回答・無回答を除く）

※調査票②：問 10 より

○ 今回の災害以前から避難先として考えていた場所として、「その他」（実際に避難した場所や災害当日に避難を検討した候補地以外）と回答した人がその場所に行かなかった理由としては、約 40.9%が「移動中の危険が大きいと思った」と回答している。

■ 災害以前から避難先として「その他」を回答した人がそこに行かなかった理由

理由	n	%
移動中の危険が大きいと思った	70	40.9%
移動するための交通手段がなかった	18	10.5%
そこに行ったとしても危険性はあまり変わらないと思った	59	34.5%
設備の問題等のため、長く滞在することが難しいと思った	43	25.1%
自宅やその周辺の様子が気になった	43	25.1%
その他	16	9.4%
無回答	26	—
計	197	—
有効回答	171	100.0%



N=171（複数回答・無回答を除く）

※調査票②：問 10、問 5（一番始めに避難した場所）、問 9（避難先の候補①・②）より